#### 国語科 年間指導計画(1年)

			学校で育成を目指す資質・能力									学			質·能力	ı																		現実的					資質·能	b								
				○ 成じた:	ことを言葉に	オスカ							<言	語能力	<b>] &gt;</b> 	か悪かさ									○ ±#	性・積極	ids									く自分		<b>)&gt;</b>  化させるた										
			(国6五利 ) 月月		にを言案に												の考えを深く	シャナースナ	,								「る態度・自	コを抽象	2才ス次執					0 144	. <del> </del>	CHMO	ちんで水	160ピるノ.	J									
			国語科と関連付けた資質・能力		部果の豆が		/±								шлал	ССНЛ	いちんと休1	しこともん	,								発揮しようと																					
			知識及び技能		に必要な国			<u> </u>	.b+1- #	=0.EW4	話サルニ朝	li (tënim	lezit-n⊲	マントがつ	±2 +3/-7	÷z									0 83	7000	t)#U& /C	7055																				
学習指導要領			思考力、判断力、表現力等		て考える力や												シラを確かた	たのする	ことができる	3.ように <b>す</b> 2	z																											
における目標			学びに向かう力、人間性等		つ価値に気付												370.61823.40	10079 80	ech ce a	JG-JIC 9 1	•																											
			月 月		4月			5月				6月					7月		1			8・9月	L-		- Last	105	10   10	-	er er   .	- I	11月			[ # 81 ]	1 2	月			1)	1		<del>- 1</del>	2月		3月		時多	持数合計
			1年	о Б У (	野原 はう たう	ン シ シ ユ ン	報を的確に聞き取る聞く〕	報を整理して書こ字の組み立てと部首	字に親しもう	? イ コ ン は 大	よっと 立ち止	字に親しもう2	葉のまとまりを考 報を引用しよう	報を読み取ろ	D 界喩 世 で広 がる言	と接続する語句 エー・	葉を集めよう	の中の中学生	の書業内を広	と書 たちに おん ::	:人 の :に 花	き上手になろう	目 場 に 立 て 書	推 服 説 読 み手 の 共	字 2	ジュウカラ	り 担 字	関を捉える	捉	読 ろ 計 を ま 歌 弾 し も	売を 単の世界	「竹取物語 物語	に生きる言葉	ラ自の分面の立	字に親しもう4	葉の関係を考えよう	考える人になろう	書案内の日の思	, に親しもう5	語の性質を見つけよう	or 7 F			に 親 し も う 6	年間の学びを振り	振 り 返 ろ う	配当時 (書写 標準授 1· (書写	科書での 持数: 120h 写: 20h) 受業時数: 140h 写: 20h)
			配当時間		6			11				16					10					13				15		Т			12				10				11			$\top$	7		9	$\Box$	1	120
		Ξ	<ul><li>(1)ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。</li><li>(1)イ 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字</li></ul>	0 0	0 0																													$\perp$								4	1		)	$\perp \perp \mid$		
		葉の関数	(エ) プラステム 日本マス 本本 エー エー 1 日本 マー 1 日本 日本 1 日本 日本 1 日本 日本 1 日本 日本 1 日本 1					0	0			0													0		0								0				0				0	0				
		す数も	の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 (1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の			0																												+								+	+-+	+	+	+		
		事項い	意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。												_																										) C	-	+	_	_	+		
		方 に	(1) エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について 理解を深めること。										0			0																				0				0		$\perp$			_			
	知識		(1)才 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。											(	0		С		0	0	0																					0			0			知識
	丸臓 及び 技能	に情 関報	(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。		0						0															0		0	0					)														· 技
	1又形6	すの る扱 事い	(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方につ																							1																+	+-+		_			能
		項方	いて理解を深め、それらを使うこと。				0	0						0									0			- 1								,								_	$\perp \perp \downarrow$		4	10		
		我 が	(3)ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有の リズムを通して、古典の世界に親しむこと。																											0	)	0	0															
			(3)イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。																												0																	
		る言 事語 項文	(3)ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。																					0																						0		
		化に	(3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する		0																																					+		+	+	+		
-			こと。 Aア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う																					-		+	+									-		_				+	+-+	-	_	+		
		Α	内容を検討すること。				0				0																																$\perp \perp \downarrow$			Ш	100	
		話 す	Aイ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。								0																																				浜版	
資質・能力の 三つの柱		z Ł	Aウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。																																									(	)	0	での	
		Ell	AI 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏				0																																						+	$\Box$	呼び	
		ž Ł	まえて、自分の考えをまとめること。																			+ +																				+	+ +	-	_	+	方	
			Aオ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。																								_		0															_	_	+		
			Bア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。		0			0						0									0																				$\perp \perp \downarrow$		)			思
		В	Bイ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。																							(	0						0					0			С	)						考
	考力、 l断力、	書く	Bウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。											(	)											(	0							)							С	)				0		判断
	現力等	2 د	BI 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整え																																							+		_	+	+		表
			ること。																																							+	+	-	+	+		現
			善点を見いだすこと。															-						-		-	-							0								+-	+		_	+		
			Cア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。							0	0				0																															0		
		С	Cイ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。			0														(	0											0																
			Cウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。											0							0													)							)							
		Z	アパングン、アプロ・ログロック かんこ。 CI 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。																							0													H			+	++	+	+	+		
													-	-	-			+						+			+			-					-	1	_		H			+	+-+	+	+-	+		
-			Cオ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。															0															0 0	)		(	)	0							0			
t.			5つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文 カウ、思いや考えを伝え合おうとする。																					0	)																							主体的に学習に 取り組む態度
	言語活	動(	A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと)			С	А	В		С	СА			ВС				С			СС	А	ВЕ	3		С	В	А	А			( )	B E	1 B I		(	С	B C		(	СВ			A B		A B	I	
					で書こう )小学校で学	学習した核	皆書の基本	点画の筆句	<b>走いを理</b> 節	解して、確	認するごとか	できる。〇	小学校で	学習した	皆書の基本	た点画の筆	使いと字形	を理解し	て書くごとけ	ができる。	○字形の雪	とえ方と筆!!	原の原則を	理解して	書くことがで	್ಕಿ ೧	(毛筆で学	習したこと	を, 硬筆に	生かすごと	とができる	,																_
					仮名を調和さ			が関め土口	CV-C-En	нос, и	80 9 SCC/3	CC 500 O	77760	3 0/6	1000	-VIII (MICO)	EXVCIN	CEMO	CH (CC)	, (200	01/001	EZOJC	No John H.	DEMO C	- H (CC)	CC 800 O	U= C7	<b>B</b> O/CCC	c, <u>w</u> =ic.	1,1,900	JJ (C. 5)																	
				<ねらい>C	の中であれて の平仮名の筆 ぬり方やレボー	€使いや筆	筆脈, 配列							字形を	里解して書	くことがで	きる。〇「いき	ろは歌」や	五十音表	について耳	里解すること	とができる。(	)漢字と仮	5名の大き	きさや行の中	中心を理	解して書く	ことができる	5.																			
			書写		書いてみよう			, ~,																																							書写	⊋ 20 h
				<ねらい>C	)残されてき <i>i</i> 連続と形の変	た文字や								皆書と行き	の違いから	ò, 行書の	の点画の特征	敗などを理	解すること	ができる。	○行書の	筆使いを確	かめること	ができる。	○点画の	連続と形	の変化を理	里解して書	くことができ	<b>ა</b>																		
				◇書き初ぬ	めを書く																																											
				<b>〈ねらい〉</b> (	文字の大き	さや字間	間, 行の中	心などを理	解して,酢	記列よく書	くことができる	。○行書	の特徴や配	記列を理解	むて書くこ	とができる																																

#### 国語科 年間指導計画(2年)

		学校で育成を目指す資質・能力										<	言語能	カ>																																
			_ mt/*	カマレカモ	葉にする	-																		O + H	本性·積柱	25.64							O.F.		自分づ		化させる力									
		国际以下的事件中4次级 500年		な語彙の		J									きったでん	化させる力										する態度・	白口を用	16記する次:	54.				O 14.	AD JCC	(H)W	ちんで <i>体</i> 1	1006973	,								
		国語科と関連付けた資質・能力				-00/+						0		CEDI	/ちんで休1	IDC E S / J										発揮しよう			75																	
		ATT-00 TL-7 (14-44).			受け止めて		化も白にん		-1- 10+6F	======================================	ケルに部に	/ +*hIII6	l bhtz	71-4/75+	7 1-21-21-7									O 87.	JOUGE.	光焊しよう	<b>と9</b> る安	55																		
学習指導要領		知識及び技能									文化に親し					)。    考えを広げ	tn:=ut	hat ママレ+	√75±2 F	-5/-z+z																										
における目標		思考力、判断力、表現力等 									化を大切に						cり <i>床</i> のに	.79 OCC/	1.(524	こりつ。	•																									
		月	ロ条が	4月	Cacatt 9 9	CCOIC	5月	псіхи	C. 36/J'mi	6)	月	.000	11-5/201	4/100	7月	CBE)				8	- 9月					10月				11)	1				12月				1月		2月	1		3月	時	数合計
		2年	い だ け		ド <sup>山</sup> 5 間 8 い	よう法で情報	1 熟	5 1	クマゼミ増加の原因魅力的な提案をしよう	に親しまう。	どの が か が か が か か か か か か か か か か か か か か	だい おしむ おおん おんかん おんかん おんかん おんかん おんかん おんかん おんかん	を 味 わ	の 力 :	可義吾・多義吾・顕義語・ 類義語・	を 楽 し む	作品を読み比っ	「わからない」は人生の宝紀書コラム	子のない葉書	手に	を工夫して	現推 剪の設・		親 同 し じ も 訓 う	地 ア 球 イ	ての に 書適 戦 こ切 し うさ も	F 5 計 表 表 え え え ま え ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	寸 育 ご 軽 3 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5	夜読羽のを製	で読 「 のの 的 事業 り も う	ー和 徒寺 然に	漢詩の風景 を知っているか	ま「長参り最後の晩餐」	うかを効果的	字 5 に <sup>な</sup>	法 9 0 可 取 2	研究の現場にようこ本の世界を広げよう読書案内	n s o z	漢字に親しもう6	法への罪 3	言 3 葉 話 し	字 3 送 り 仮	語の	字習を振り返ろう	配当時 (書写 標準授 14	料書での 数: 120h \$: 20h) 以業時数: 40h \$: 20h)
		配当時間		6			14			1	2				11					Ī	13					16				11					10				9		13			5	$\equiv$	120
		(1)ア 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 の							0											0	0																		_					0	.	
		特 (1)イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。																																					$\perp$		0				.	
		(1) 9 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度か 6450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書 また、学年別漢字の表示と					0	0		0													C			C									0				0			0			.	
		(1) 表、文や文庫の中で使うこと。 (1)工 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義 的な事味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を踏き語彙	0	0									0		0 0								C	)					0					0				0					0			
		を豊かにすること。 関  (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成につい		+	+		+		+	$\vdash$	0	+	+	$\vdash$	+		+	-	+		$\vdash$	-	+	+	$\dashv$		+	+	+	_	$\vdash$				+	+					+			+		
	知識	て理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 事		$\perp$	+		$\vdash$	+	1	$\vdash$	<u> </u>	_		$\vdash$		++	+	1	-			+	+		$\dashv$	-	+		+		+	-	-	$\vdash$	-	7	-		+			-		+		知識
	及び 技能	(1)カ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。																			0	0 0					$\perp$												$\perp$					0		· 技
		に情 (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 す の			0																				0	0	0	0				С												0	.	能
	-	る扱 事 い 項方				0					(																						0									(	0			
		我 (3)ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむごと。																												0 0	0	0													.	
		** 国 (3) (3) (4) 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方 る しゃ考え方を知ること。			0																									0	0														.	
														0		0	0 (	0	0	)					1				1							0	0		+							
		Aア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら			0																							0																		
		集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。     私 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話						+	-																			1											+						横	
		の構成を工夫すること。							0														-																$\perp$						浜版	
資質・能力の 三つの柱		Aウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。							0																														$\perp$						での	
		間 AI 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめるこ と。			0															0																								0	呼 び	
		と Aオ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。																									0	0																	方	
	=	Bア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理			0	0																																	+							
		し、伝えたいごとを明確にすること。 Bイ 伝えたいごとが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や			-																																		-	_					.	思考
	思考力、	展開を工夫すること。																													0								$\perp$	0					.	· 判
	判断力、 表現力等	書 Bウ 根拠の適切さき考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするな  と、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。										C	)								0					0								0				0						0	.	断
		と BI 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。																				0																						0	.	表
		Bオ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい 点や改善点を見いだすこと。																																0						0					.	現
		Cア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕	$\vdash$		+	+	$\vdash$		+	$\vdash$		+		$\vdash$			+				$\vdash$	-	+	+	$\dashv$			+	-		$\vdash$								+	+	+					
		方などを捉えること。  C 目的に「た」、「ケ海外の情報を終用した私に溶付か情報を埋たり、発悟し他の霊動の資料	$\vdash$		+		$\vdash$	+		$\vdash$	-	_	-	$\vdash$		+	+		+		$\vdash$	+	+		$\dashv$	-	+	+	+		$\vdash$	+	-	$\vdash$	+		+		+	+	$\vdash$		+			
		などについて考えたりして、内容を解釈すること。		$\perp$	$\perp$			_								+	$\perp$		)				_		_		_		_	0		С	0					0	$\bot$	-						
		読む Cグ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。						С																															$\perp$							
		と CT 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。											0				0		0						0				0			0 0	0											0		
		Cオ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり 深めたりすること。			0			$\top$					)	0			0								0						0					0		0	$\top$	$\top$			0			
	かつ刀、人	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。																					(								1 1															:体的に学習に 取り組む態度
	間性等	IDLに関わり、思いたちんで伝え合わったり。。  動 ( A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと)		С	ΔΒ				: A		Е	3 E	1 (	С			С		- c	: A	В	В			С	В	A	A	$\overline{}$		В			R		С		В	$\overline{}$	В		$\overline{}$		A B		- ハン・ベン 駅後
		SO ON BLIFTCE BINCE D BINCE D BINCE			A C	В			, A		(									A	В	D			_	D	A	A			С			В			•	Б		В				C		
			〈ねらい〉 2 行書 〈ねらい〉	と仮名を記	の省略を理調和させて	書いてみ	よう むて書くこ	とができる	。○行書(							寺徴を理解(			て理解す	ることがて	:eao. ○{	テ書と行書	書に調和	する仮名の	書き方を	建解して,	,速〈書〈	くことを意識	はすることか	できる。																
		書写	3 学習 (ねらい)	活動や日 〉〇目的	常生活に や必要に応	生かしてき	書こう 方をするに	こはどのよう	な点に注意							を理解して, 識し, 書式						びて, 効	果的に低	<b>売える工夫</b> の	の仕方を	理解するこ	ことができ	<b>ప</b> .																	書写	≨ 20 h
			◇書き4	初めを書く							の小がに来	· 26号/C	C13 (C3)	, ULAS	,u rۮi		, m, 71°C 3	±n+∪ (,	ACMA?	~ = \CC	~ (C.9∘																									

国語科 年間指導計画(3年)

				学校で育成を目指す資質・能力										学習の基 <b>く</b> 割		S資質・f <b>を力</b> >																		現到	長的な諸			て求められ <b>ドくり&gt;</b>	る資質・	·能力							
					○ 感	じたことを	言葉にする	カ							○ 感情	語彙の豊	かさ									0	主体性・	積極性									伝え合	うことで自分	分の考えを	深化させる	る力						
				国語科と関連付けた資質・能力	〇身	近な語彙	きの豊かさ								○ 伝え	合うことで	自分の考	えを深化	させる力							0	他者を理	解する態	度・自己を	理解する姿	勢																
					○相	手の思い	を受け止め	て聞く力																		0	自分らし	さを発揮し	ようとする蚤	<b>S勢</b>																	
				知識及び技能	社会生	上活に必§	要な国語の	)知識や技	能を身に	付けるとと	ともに、我が	が国の言語	吾文化に業	見しんだり理	解したり	することが	できるよう	にする。																													
学習指導要領 における目標				思考力、判断力、表現力等	論理的	りに考える	る力や深く共	も感したり!	豊かに想像	象したりす	る力を養し	い、社会生	活におけ	る人との関	わりの中	で伝え合	う力を高る	か、自分の	思いや考	えを広げ	たり深めた	りすること	ができる。	ようにする	<b>ა</b>																						
				学びに向かう力、人間性等	言葉力	(もつ価値	直を認識する	るとともに、	読書を通	して自己	を向上さ	せ、我が国	の言語文	化に関われ	り、思いが	考えを伝	え合おう	さる態度	を養う。																												
				A	世界	4月 握 手	評「	学書文	5月		超作考		6月 す文 い法	報実道用	俳	俳句	三 外	7月 読	探「	本。	こた せ	挨故	8・9月	€ □			美人	創人造間	書多			初音		音 万君 葉待		古典	誰文	情 漢	1 2月	違の文	本本の	. 読 温	1月	振三湯	3月		時数合計
				3年	かは美しいと		閨	て 時 に 之 を 習 ん	1熟語の読み方	に 親 し も う 1	た 「 物 語」	カに	かはいくつ必要?	文的をな	の可能	を 味 わ	ぼう		に の い 一 こ 冊 う <sup>し</sup>	世界を	3 に 2 な 2 る ? つ	拶原爆の写真によ	上手になろう	える。神理の展開	わざ・故事成 ・故事成	2 (a 漢 字 し の き	こ 知 規 能 と も の 未	性と人工知能と	う的 に 分析 して	こ親しもうるいを効果的	論合みあり	ジ	の世界 銀の名字	を ・つ 楽 古と	「お く の ほ そ	名句・名	の代 書こうに	を 読 漢	に親しもう5	がわからない? 「ない」	世界の広原	早内 スープ げょう	しを束ねないで	返ろうみを	習を振り返ろう	配当(書)	対書での 時数:90h 写:10h) 授業時数: 105h 写:10h)
		8	(1)ア	配当時間 ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。ま		6	+	$\top$	11	0			10									Т	10					10					12					0	8			+	5	7	4		90
		葉にの	た、学(1)イ	学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。 イ理解したり表現したりするために必要な語句の量を増い、慣用句や四字熟語などにつ 理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通			+	+				-								-		+					_		-		+										++	_	+			-	
		関特で変	いて理 して、i	理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通 、語感を磨き語彙を豊かにすること。	<b>M</b>	0	$\perp$	4							0						C				0							0					0				$\perp \perp$		0	0			
		の事 項	(1)ウ	う 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。				0							0	0																									1						
		U		I 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。																			0																					0	0		
	£10.740	に情	(2)7	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。			+	+			0									+									0	0								)			H	+	+			1	知識
	知識及び	す の る 扱					+	+												-		+																			++	+	+			-	•
	技能	事り項方	(2)1	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。			0	_				)	0														С	0													$\perp \perp$		$\perp \perp \downarrow$				技 能
		我にが		ア歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。			C	)																									0	0	0	0					Ш						
		関国すの	(3)イ	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うごと。																														0	0	0											
		る言 事語 項文	(3)ウ	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。												(	0																												0		
		化		オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解すること。														0	0	0	0	0	)																		0	0 0			0		
				目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料 理し、伝え合う内容を検討すること。	1		0	$\top$																																							
		話	A1 I	自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の を工夫すること。			+	+																																	$\Box$		+		0	横	
資質・能力の		す こ と	Aウ s	場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫す	ŧ		+	+																																	$\Box$		+	0		温 版 で	
三つの柱		- 団		語の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを	ŧ		0	+														+	0								+										$\vdash$	_	+			呼	
		ر د د	-	たり深めたりすること。 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて				+														+																			$\vdash$	_	+			方	
			+	を広げたり深めたりすること。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を	を		+	+																						0											$\vdash$	_	+				思
			確認し	3.1、伝えたいごとを明確にすること。 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章			+	+												-		-									-										++	+	+				考
	思考力、判断力、	В	の構成	成を工夫すること。			+								0							+							0		+				0						$\vdash$	_	4	0			判断
	表現力等	< < z	Bワ a	表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わ 章になるように工夫すること。	2		$\perp$	_							0														0												$\perp \perp$	_			0		表
		٤	BI I	目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。			$\perp$	$\perp$			$\perp$	$\perp$										$\perp$	1	0				Ш													$\sqcup$	$\perp$	$\perp \perp$				現
				論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善 見いだすこと。																																	(	)									
		С		文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。		0					0	$\perp$																																			
		読		文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。		0																0					С	0																			
		む こ と	C7 :	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。							0				0	0					С											0		0													
			CI :	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見 つこと。	1		(	)											0		С	0					С	0							0		0				0	0	0		0		
	学びに向かう力、人間			f値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化 いや考えを伝え合おうとする。	Ł											'	,			·		'	'			0			1		'			'			'								'		主体的に学習に取り組む態度
	性等言語			舌すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと)		С	A C	СВ			С	Δ		С	С	С			С		C	СС	A			$\Box$	С	С	В	A	A			С	В		СЕ	3			С	$\overline{}$	$\prod$				
																																			С												
				書写	(ねらい) 2行書 (ねらい) 3身の; (ねらい) ◇書き!	と仮名を認 ◇○点画の まわりの多 ◇○身のま 初めを書く	D変化と連続を 間和させて書ご D連続を理解し 様な表現をと わりで見かける	こう して書くことが とおして文字が なる、文字の	ができる。C 文化の豊か もつ表現効	)配列を理が かさにふれ, が果について	解して書くこ 効果的にご 考えることが	とができる。 文字を書こう ができる。〇:	○行書と仮 う 三年間の学	で名の調和や	て効果的に	書き、日泊			もつことがで	できる。																										書	写 10h

# 社会科 年間指導計画(1年)

	育成を			学習	図の基盤となる資質・能力			現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力	
	指す ・能力			<	(言語能力>			<自分づくり>	
	関連付けた ・能力			他者に的確	思いを受け止ぬ にわかりやすく 大まかにとらえ	伝える力	地域を愛する	気持ち、課題に対応する力、主体性・積	極性
	知識及び技能	我が国の国土と歴史、現代	代の政治、経済、国	際関係等に関して理解する	とともに、調査や諸資料から	- * - * - * - * * * * * * * * * * * * *			
学習指導要 領における目 標	思考力、判断力、表現力等学びに向かう					題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明			
E	力、人間性等	社会的事象について、よりよい 4月	い社会の実現を視野に 5月	·		J・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対 7月 10月	する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平利	印と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深め 1月 2月 3月	る。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1	年	世界の姿	日本の姿	世界各地の人々の 生活と環境		古代までの日本	世界の諸地域	中世の日本	教科書での 配当時数:100h 評価などの予備時間:5h 標準授業時数:105h
配当	時間	8	6	10	7	25	29	15	100
	思考力、判断力、表現力等	【地理的分野】 地理に関わる事象の意味 する力を養う。 【歴史的分野】	味や意義、特色や		布、場所、人間と自然環			題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明 は場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを記	
	学びに向かう カ、人間性等	覚などを深める。 【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象に	ついて、よりよい社会		見られる課題を主体的に追	32、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考		战が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しよう □対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の	
内容(言	語材料)	地球の姿を見てみよう 世界のさまざまな国々 地球上の位置を表そう 地球儀と世界地図	北方領土・竹島と尖 閣諸島			人類の出現と進化 古代文明のおごりと発展 中国文明の発展 ギリシャ・ローマの文明 宗教のおごりと三大宗教	アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	武士の成長 院政から武士の政権へ 鎌倉幕府の成立と執権政治 武士と民衆の生活 鎌倉時代の文化と宗教	
単元目標	•到達目標	の分布,主な国々の名称と 位置を基に,世界の地域 構成を大観し理解させる。 ・世界の地域構成の特色 を,大陸と海洋の分布や主 な国の緯度や経度に着目し	や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解させる。 ・日本の地域構成の特色を、多面的・多	響をその場所の自然及び社会的条件に影響を与えることを理解させる。 ・世界各地における人々の安生活の特色を,自然及び	報を読みとったり、年表などにまとめたりする技能を身に付けさせる。 ・私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身	・日本列島における農耕の広まりと、生活の変化や当時の人々の信仰、 大和朝廷による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの 文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの 文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その 後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。 ・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立を基に国際的な要素をもった 文化が栄え基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。 ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる記	メリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。 ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させて、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそ	・鎌倉幕府の成立, 元寇などを基に, 武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し, その支配が広まったこと, 元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・南北朝の争乱と室町幕府, 日明貿易, 琉球の国際的な役割などを基に, 武家政治の展開とともに, 東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・武士の政治への進出と展開, 東アジアにおける交流, 農業や商工業の発達などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 武家政治の成立とユーラシアの交流, 武家政治の展開と東アジアの動き, 民衆の成長と新たな文化の形成について, 中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。	

### 社会科 年間指導計画(2年)

		77 千间1日等可					
学校で 目	育成を		学習の基盤となる資質・能力			現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力	
	・能力		<言語能力>			<自分づくり>	
			相手の思いを受け止めて力				
	関連付けた・能力	他:	者に的確にわかりやすく伝える	<del>,</del>	地域を	愛する気持ち、課題に対応する力、主体性・積	極性
貝貝	• 用已/J	וַ	事実を大まかにとらえる力	, 5	- B - M C		. <u> </u>
	<b>左□三架 下3.7 ごせまと</b>	<b>非がヨのヨナレ麻由 羽みの政治 紋字 国際関係学</b>	手 全 と	か用的に調べまとれるは然を白に付ける トラにする			
学習指導要	思考力、判断						
領における目 標	力、表現力等			て選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらる 毎的な考察や深い理解を涌して涵養される我が国の国土や歴史に		っ。 ∃う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの:	大切さについての自覚などを深め
	力、人間性等		6月 7月			2月 1月 2月 3月	時数合計
,	7	471   571	0/3   //3	0.9H   10H   1	19 1	2H 1H 2H 3H	一
2	年	1万世(1)日本	地域調査の日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域	地域の在り方	開国と近代日本の歩み	教科書での 配当時数:99h 評価などの予備時間:6 h 標準授業時数:105h
配当	時間	23	6 11	35	5	19	99
	知識及び技能	【歴史的分野】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調 【地理的分野】	果的に調べまとめる技能を身に付ける。 まに、各時代の特色を踏まえて理解する。 周べまとめる技能を身に付ける。				
資質・能力の 三つの柱	思考力、判断力、表現力等	する力を養う。 【歴史的分野】				理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明 は複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを記	
	学びに向かう 力、人間性等	覚などを深める。 【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現:		うとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解		函養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しよう 国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の	
内容(言	語材料)	ヨーロッパ世界の拡大 ヨーロッパ人との出会い 信長・秀吉による統一事業	気候から見た日本の特色 災害と防災・減災への取り組み 野外観察・聞き取り 同査 調査 調査のまとめ 気候から見た日本の特色 資源・エネルギーの特色	九州地方 中国·四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	地域の課題を見つける 課題を調査する 要因を考察する 解決策を構想する 地域の将来を考える	イギリスとアメリカの革命 フランス革命 ヨーロッパにおける国民意識の高まり ロシアの拡大とアメリカの発展 産業革命と資本主義	
単元目標	·到達目標	・社会の変動や欧米諸国の接近,幕府の政治改革,新 しい学問・思想の動きなどを基に,幕府の政治が次第に行 き詰まりを見せたことを理解させる。 ・交易の広がりとその影響,統一政権の諸政策の目的, 産業の発達と文化の担い手の変化,社会の変化と幕府の 政策の変化などに着目して,事象を相互に関連付けるな として,近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考	査,文献調査を行 5際の視点や方 法,地理的なまとめ 方の基礎を理解させ る。 ・地域調査の手法に ついて、よりよい社 数は、対域に対して、まりまい社 資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。①自然環境②人口③資源・エネル ギー④交通・通信について、それぞれの地域 区分を多面的・多角的に考察し、表現させる。 も、 も、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	域の課題を理解させる。①自然環境②人口や都市・村落③産業④交通 や通信⑤その他の事象を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事	けて考察,構想したことを適切に説明,議論する手法について理解させる。 ・地域の在り方を,地域の結び付きや地域の変容,そ	・自由民権運動,大日本帝国憲法の制定,日清・日露戦争,条約改正などを基に,立憲制の国施成立して議会政治が始まるとともに,我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。	化

#### 社会科 年間指導計画(3年)

学校で育成を 目指す		学習の基盤となる資質・能力			現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力		
資質·能力		<言語能力>			<自分づくり>		
社会科と関連付けた 資質・能力	他者に	手の思いを受け止めて力 的確にわかりやすく伝える 実を大まかにとらえる力		よりよい社会を創る態度	度、主体的に社会に参画する姿	·····································	する姿勢
左口: 許丁3.7 だまち	が能 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解		甲的に調べまとれる法能を負に付けるとうにする				
指導要用表力。如果		: 9 るCCでに、洞且 17語貝科が9棟々 & 目報でXXI:	未りに調べるとのお文化を対に刊りつよりにする。				
かんる日 力、表現力等	(15)   位云的争家の息味で息義、符色で相互の関連を多面的・多角的に	考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて過	選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それ	らを基に議論したりする力を養う。			
学びに向かう	【社会的事象につい(、よりよい社会の美規を視野に課題を主体的に	解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角	的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴	とに対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、そ	その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重すること	この大切さについての自覚などを	深める。
月	4月 5月	6月 7月	8・9月 10月	11月 12月	1月 2月	3月	時数合計
3年	二度の世界大戦と日 個人の尊重と	本(27)	現代の日本と世界(14)	現代社会と私たち(14)	地球社会と私たち(14)	より良い社会を 目指して(4)	教科書での 配当時数 : 136h 評価などの予備時間 :
(配当時間)	日本国憲法(16)	現代の	民主政治と社会(23)	私たちの暮れ	らしと経済(24)		標準授業時数:140
	資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめ 【歴史的分野】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時		のつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、	歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏ま	えて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを	説明したり、それらを基に議詞	<b>ー</b> ーしたりする力を養う。
	断 【公民的分野】  等 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生	E活と関連付けて多面的・多角的に考察したり	り、現代社会に見られる課題について公正に判断したりす	る力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論	したりする力を養う。		
	(歴史的分野) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそご文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深ていたのの分野)	で見られる課題を主体的に追究、解決しようと め、国際協調の精神を養う。 ・視野に主体的に社会に関わろうとする態度を	する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い時	解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民	民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の		
力、表現力等学がに向かった。人間性等	等 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会会 【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそご 文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深 【公民的分野】 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を 深める。	で見られる課題を主体的に追究、解決しようと め、国際協調の精神を養う。 ・視野に主体的に社会に関わろうとする態度を は争に向かう世論 ・戦争の終結	する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して	解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民 涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、そ	民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々のでである。	各国民が協力し合うことのプ	大切さについての自覚なる
カ、表現力等 学びに向かき	(歴史的分野) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこ文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深し公民的分野) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を深める。 第一次世界大戦と民族独立の動き・高まるデモクラシー意識・単	で見られる課題を主体的に追究、解決しようと め、国際協調の精神を養う。 ・視野に主体的に社会に関わろうとする態度を 、	する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理 養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して 持続可能な社会に向けて 結び付きを深める世界 変わる人口構成と家族 情報が変える社会の仕組み	解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民 涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、そ 私たちの生活と文化の役割 伝統文化と新たな文化の創造 多文化共生を目指して 社会集団の中で生きる私たち	民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々のでの平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、 国際社会における国家 地域主義の動き 新興国の台頭と経済格差 地球環境問題・貧困問題 難民問題・世界と協力する日本	各国民が協力し合うことの対 持続可能な社会の形成 者として 持続可能な社会を実現す るために	大切さについての自覚な
の柱 力、表現力等学がに向かった。人間性等	(歴史的分野) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそご文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深 (公民的分野) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を深める。 第一次世界大戦と民族独立の動き・高まるデモクラシー意識・単第二次世界大戦の始まり・太平洋戦争の開始・戦時下の人々 人権の歴史と憲法・日本国憲法とは 国民主権と私たちの責任 平和主義の意義と日本の役割	で見られる課題を主体的に追究、解決しようと め、国際協調の精神を養う。 ・視野に主体的に社会に関わろうとする態度を は争に向かう世論 ・戦争の終結 政治と民主主義・政党の役割 行政を監視する国会・行政の仕組みと 裁判の種類と人権 私たちの生活と地方自治・地方自治の 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦 人類全体に惨禍をもたらしたことを理解させる。	する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して 養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して 持続可能な社会に向けて 結び付きを深める世界 変わる人口構成と家族 情報が変える社会の仕組み 内閣	解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民 涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、そ 私たちの生活と文化の役割 伝統文化と新たな文化の創造 多文化共生を目指して 社会集団の中で生きる私たち 決まりを作る目的と方法・効率と公正 私たちの消費生活・契約と消費生活・消費生活を支 生産活動と企業・労働の意義と労働者の権利 貨幣の役割と金融・景気と金融政策 少子高齢化と財政・公害の防止と環境の保全 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の 継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返り	民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々のでの平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、国際社会における国家地域主義の動き新興国の台頭と経済格差地球環境問題・貧困問題難民問題・世界と協力する日本える流通	各国民が協力し合うことのプ 持続可能な社会の形成 者として 持続可能な社会を実現す るために 探究を続ける	大切さについての自覚な

#### 数学科 年間指導計画(1年)

		17 一个同时会可图(1			T		TO READ A SEVER TO THE SEVER TH	E 48.1		
学校で 目指	if		学習の基盤となる資質・能力				現実的な諸課題に対応して求められる資質	世・能力		
資質・	能力		<言語能力>				<自分づくり>			
		○ 事実等を正確に理解する力			〇 好奇心	をもち、物事を追求する姿勢	<ul><li>伝え合うことで</li></ul>	自分の考えを深化させる力		
数学科と関 資質・		○ 数学の語彙の豊かさ			○ 伝えるら	内容を明確にする力				
7.7	1000				○ 他者の	考えや思いに対する受容性				
	知識及び技能	・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や原理・法則などを理解し			L.					
学習指導要領に	思考力、判断	<ul><li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする。</li><li>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形のなどの性質を見る。</li></ul>		現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に	表現する力を身に付けている。					
	力、表現力等学びに向かう力、	<ul> <li>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学</li> </ul>								
	人間性等	4月 5月			9月 10月	11月 12月	1月	2月 3月	1	I WASI
,	,	0章 1章	2章	3章	4章	5章	6章		<b>F備時間</b>	時数合計
	_	算数から 数の世界をひろげよう	数のことばを	未知の数の求め方	数量の関係を調べて	平面図形の見方を	立体の見方をひろげよう	データを活用して		対科書での
1:	牛	数学へ [正負の数]	身につけよう [文字と式]	を考えよう [方程式]	問題を解決しよう [比例と反比例]	ひろげよう [平面図形]	[空間図形]	判断しよう [データの分析と活用]	配当	時数:140h
	_								標準授	業時数:140h
配当	時間	3 25	18	14	22	17	18	10	13	
	知識及び技能	● 正の数と負の数の必要性と意味。● 正の数と負の数を具体的な場面で活  ● 1 次式の加法に対  ● の事というでは、    ・	必要性と意味及U方程式の中の文字や解の意味 に式に表すこと ●式を用いて表した協か限したり。 垂直二等分線や角の二等分線などの基本的な作 定する理由を説明すること ● 雨形の弧の長さや面 系についての理解(表,式,グラフを相互に関連付け 資料の特徴を分かりやす(表現すること ●度数分れ	●文字を用いた式における乗法と除さること 図 ●見取り図、展開図、投影図を 積の意味を理解し、nを用いて表すこ あがら、比例、反比例の関係の特徴 布表やヒストグラムから代表値(平均値	かくこと と なごいて理解を深める) ●座標の意味の理解 ●比例,反比例を 1,最頻値,中央値)を求めること ●各階級の相対度数を求めること				横浜版	知識·技能
資質・能力の三 つの柱	思考力、判断力、表現力等	■ 調教で学園した数の四則計報と関連付けて、正の数と角の数の回則計算 ・ 等式の性質を基にして、1元1次方程式を解く方法を考察し表現すること ・ 回路の仕事に「着目し、基礎的な作図の方法を考察し表現すること ● 回 ・ 空間回形と直接や平面回形の運動によって構成されるものと捉えたり、空 「(変化と関係(リペー6年)(中)] ・ 世代例、近代中(リペー6年)(中) ・ 世代別、近代中(リペー6年)(中) ・ 自的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分析の傾向を読み取り	●1元1次方程式を具体的な場面で活用するご 5の移動に着目し、二つの図形の関係について考別 間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間 用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだす 、批判的に考察し判断すること ●多数の観察や多	と  に表現すること  ・基本的な作図や  図形の性質を見いだしたりすること  ・  こと  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	団形の移動を具体的な場面で活用すること 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現すること りな事象を捉え考察し表現すること	表現すること			の 呼 び 方	思考・判断・表現
	学びに向かう力、 人間性等	[A数よ計算(小)・A数と式(中)] [B図形(小)(中)] [C変化と関係(小4〜c ● 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や**	学習に生かそうとする態度,問題解決の過程を振りi				Langeron	The state of		主体的に学習に 取り組む態度
举元目標・	到達目標	正角の数について (知識・技能) ①必要性、大小関係や絶対値の層味を理解している ②四側計算をすることができる ①具体的な場面で用いて表したり、処理したりすることができる (思考・判断・支援) ①第数で学習した数の四側計算と関連づけて、四側計算の方 表現することができる。 ②数の場合と四側計算の可能性について限えますことできる ②活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現する。 (主体的に一等温に取り積化態度) ①必要性と意味を考えなとしている ②物の動態を表現することができた。 ②等にことを言いで書によりたそとしている ③問題が深いの過程を振り返って検討しようとしている	⑤数量の関係などを文字を用いた式 に表したり、読み取ったりすることができ る [思考・判断・表現]	式の性類使用いて解ぐ上がさきる (前脚はちのや、比例式を解ぐ上が できる (山事の中への数量や関係に注目し、 はなっなこができる (別具体的な問題解決をすると述してしる) (思考・判断・表現) (川解ぐ方法を考取し、表現することが できる (心移頂できる理由を等述の性質をおして表現)、表現することができる		平面原形について (知識・技術) ・ 3 年後代年子・対称・回転)について理解している。 ・ 3 年前の一切では、 ・ 4 年前の一切では、 ・ 5 年前の一切では、 ・ 5 年前の一切では、 ・ 5 年前の一切では、 ・ 5 年前の一切では、 ・ 5 年前のでは、 ・ 5 年前のでは、	②開図形について 「知識・技能] (可適性や単語の位置関係を世難している ②な体制形の期間回や特別部について理難している ①は他が関係、球の表面積、体積を求めることができる ②率 面上は実現して平面上の表現から空間図形の性類を ②であ上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を ②になってかできる ②な体制形の表面積や体積の求め方を考別し表現することができる ②な体制形の表面積や体積の求め方を考別し表現することができる ②な体制形の表面積や体積の求め方を考別し表現することができる ②な体制形の表面積や体積の求め方を考別し表現することができる ②の必要定と関係を考えようしている ③的超解末の過程を簡別多って検討しようとしている ④問題解末の過程を簡別多って検討しようとしている	デーのについて 「知識・技術」 (立たよゲラムや相対度数などの必要 性と関係を理解している ②思報度数、実積相対度数の必要 性と関係を理解している (3) エピュータはどの情報手段を用いて、 (3) エピュータはどの情報手段を用いて、 (3) エピュータはどの情報手段を用いて、 (3) では、 (3) では、 (3) では、 (3) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (5) を数の程度や多数回のが行こことで得られている。 (5) 多数の程度や多数回のが行こことで得られている。 (5) を数の程度や多数回のが行こことでは、 (5) を数の程度や多数回のが行の結 (5) を数の程度や多数回のが行の結 (5) を数の程度や多数回のが行の結 (5) を数の程度や多数回が行の結 (5) を数の程度や多数回が行の結 (5) できなの程度や多数回が行の結 (5) できなの程度や多数回が行の結 (5) できなの程度や多数回が行の結 (5) できなの程度を多数の程度を多数の (5) できなの程度を多数の程度を多数の (5) できない。 (5) できない。 (6) できない。 (6) できない。 (7) できない		

#### 数学科 年間指導計画(2年)

学校で		17 <b>TIDIH</b>		なる資質・能力		現3	(的な諸課題に対応して求められる資質	·能力		
目指	指す			能力>		·	<自分づくり>			
		<ul><li>○ 事実等を正確に理解する力</li></ul>	\PIP		<ul> <li>○ 好奇心をも</li> </ul>			 -自分の考えを深化させるカ		
数学科とB 資質・	関連付けた ・能力	○ 数学の語彙の豊かさ				を明確にする力 や思いに対する受容性				
おける目標	知識及び技能 思考力、判断 力、表現力等 学びに向かう力、		に表現・処理したりする技能を身に付けている。	る力,数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身にいる過程を振い方って認備。 や新により よりし かり ごいる	L					
	人間性等	4月 5	5月 6月	7月 8·9月	10月	1 1月 1 2月	1月   2	2月 3月	l ide	数合計
2	年	1章 文字式を使って説明しよう [式の計算]	2章 方程式を利用して 問題を解決しよう [連立方程式]	3章 関数を利用して 問題を解決しよう [1次関数]	4章 図形の性質の 調べ方を考えよう [平行と合同]	5章 図形の性質を 見つけて証明しよう [三角形と四角形]	6章 起こりやすさをとらえて 説明しよう [確率]	7章 予備時間 データを比較して 判断しよう [データの比較]	教科配当時	料書での 数:105h 時数:105h
配当	知識及び技能	●文字を用いた式で数量及び数量の関係を投え説明 [回開形(小)(中)] ・甲子線や角の性質の理解 ● 多角形の角についての (ご変化と関係(小4~6年)・(中)] ・夏体的な事象の中の1次関数を見だすこと ● 1次 [Dデータの志用(小)(中)]	できること D性質の理解 ●証明で活用するために、同じ条件を減 に関数についての理解(表、式、グラフを相互に関連付け 製率の意味を理解すること ●起こひ得る場合を整理し、	19  北方程式とその解の意味 ●連立 2元1次方程式の必要性とその解の意味  東京全 ての図形の代表としての図をかてこと ●延明で用いる用語について はがら、グラフの特徴や変化の割合など関数の理解を深める) ●1次関表や相形図にまとめること ●起こり得る現象が「同様に確からいい」ことからするの違いについて考察すること	ての理解 ●三角形の合同条件についての理解 ●平/ の理解 ●三角形の合同条件についての理解 ●平/ 別数と2元1次方程式との関連を図る ●1次関数を		9	5 13	横浜版	知識・技能
資質・能力の三 つの柱	思考力、判断力、表現力等	■連立 2 元 1 次方程式を具体的な場面で活用するご [B図形(小)(中)]  ・基本的2中面図形の性質を見いた」,平行線や角 (「変化と関係(小4~6年)(中)]  ・1 次開教として捉えられる二つの数量について,変作 [Dデータの活用(小)(中)]  ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向	さと の性質を基にしてそれらを確か必説明すること ●三角 とや対応の特徴を見いたし、表、式、グラフを相互に関 9を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること ●	i連付けて考察し表現すること ● 1 次関数を用いて具体的な事象を捉え ● 同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め	B的に確かめたり,証明を読んで新たな性質を見いだし 考察し表現すること	たりすること  ●三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面	で活用すること		nox での呼び方	思考·判断·表現
	学びに向かう力、 人間性等		[C変化と関係(小4〜6年)・(中)] [Dデータの活用(小 (考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題	)(中)] 解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度,多様な考えを認め,	, よりよく問題解決しようとする態度を養う					主体的に学習( 取り組む態度
举元目標		[知識・技能] (国際・技能] (国際・技能] (国際・技能] (国際・技能] (国際・技能] (国際・技能) (国際・技能) (国際・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	②必要性と意味文化その際の意味を理解している ③簡単なものを解くこかできる [思考・判断・表現] ② 1元1次万程式(関連付けて、解く方法を考察し接 現することができる ② 泛用して具体的な場面を考察し表現することができる [主体物に学証」の必要性と意味を考えよとしている	1 次開放について [知識 技術] ② 準率の中でごれと捉えられるものがあることを知っている ② 連挙の中でごれと捉えられるものがあることを知っている ② 変化の耐合やイランの切りたく積色の悪味を増加している ② 変化の耐合やイランの切りたく積色の悪味を増加している ② 表 1 次 ファルギルにで表別した。 及現 することができる [思考・判断・表現] ② これた他に入りませから半条を投入方が見入後することができる 「主体的に子部に以連行がて考別し、表現することができる 「主体のに子部に以連行がと考別し表現することができる 「主体のに子部に以相対地質」 ② 字外にことを生活や子部に生かだらしている ③ 即随解決の過程を振り返って検討しようとしている ③ 即随解決の過程を振り返って検討しようとしている	平面図形について (知識・排稿) ①多角形の向についての性質を見いだせることを知ってい ②平行家と角の仕質を理解している ③平面回訳の自然の機を扱びこ角形の合同条件につい ③ 経過の必要性と原味及びその方法について理解してい ③ 国本・お明・表現引 ① 基本が3位性質を見いだし、平行線や角の性質を基に でそれらを確か。説明することができる [主体別に学部に取り組む態度引 ②必要性と極端を考えようとしている ②学がに定を生活や学部に生かそうとしている ③ 問題解末の過程を類り返って検討しようとしている	② 定義や単柄の変と核論, 逆の意味を理解している ○ ①凡例の意味を理解している ④正方形, U.R. 長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している 【思考・判断・表現】 ○ ② 二角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質	ハ している ②簡単な場合について求めることができる	「知識・技術! (必要性と関係している (2) エータなどの情報手段を用いるをしてニータなどの情報手段を用いるなどしてデータ整理して、これらで表すことができる (思考・判断・表現 (ボータックが布の傾向を比較して誘か成り、批判的に考察し利断することができる (三本杯)に学習に取り組む態度 (3 必要性と意味を考えようしている (3 学杯)にと生き治で学習に生かそうしている (3 同期関係法の過程を展り落って検討		

#### 数学科 年間指導計画(3年)

振導要領に 対3目標 カカップ 大力 ・ 能力の三 つの柱	識及び技能 考力、判断 表現力等 に向かう力、 人間性等	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実施して粘り強くネ 4月 1章 文字式を使って説明しよう [多項式]  [多項式]  [各数と計算(小)・A数と式(中)] ● 数の中方根の必要性と画味・単方根を具体的ない。 ● 数の中方根の必要性と画味・単元の東法ときのとのの中方根の心を可とのの計・単項式の東法ときのとのの中方根の心を対しての主に、中)  [区政化と知体(小)(中)] ● 具体的な事象の中の二つの数量関係が y=ax^2 (5 [Dデータの連用(小)(中)] ●全数調査と比較するなとして、標本調査の必要性とが	来現・処理したりなる技能を身に付けている。 図形のなどの性質を見いべた統合的・発展的に考察する  まえ、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の 月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 15 16 副面で活用すること・創選をや近似値 国式の東法及び多項式を単項式で割る除法・●1次式  3段比、面補比、体積比についての理解・●4段の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること・●標本調査から母集団の傾向	5カ,数字的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。 7月 3章 方程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式] 15 15 2の乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合なと関数の理解を一層深 沙理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	と,中点連結定理の理解 ●三角形の 割数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	性 1 2月 6章 円の性質を 見りけて 証明しよう [円] 10 式を知り、2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	1月 7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	2月 8章 集団全体の 傾向をを しよう [標本調査]	予備時間	教記当時	持数合計 料書での 時数:140h 業時数:140h
資質・能力  「最適要額に 思考力」  「学ない カカック カー カル    「	識及び技能 考力、判断 表現力等 に向かう力、 人間性等		来現・処理したりなる技能を身に付けている。 図形のなどの性質を見いべた統合的・発展的に考察する  まえ、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の 月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 15 16 副面で活用すること・創選をや近似値 国式の東法及び多項式を単項式で割る除法・●1次式  3段比、面補比、体積比についての理解・●4段の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること・●標本調査から母集団の傾向	の適程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。  7月 3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	○ 伝える内容を明確にする力 ○ 他者の考えや思いに対する受容  11月 5曾 形に注目して 図形の性質を調べよう [相似な図形]  23	性 1 2月 6章 円の性質を 見りけて 証明しよう [円] 10 式を知り、2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	2月 8章 集団全体の 傾向をを しよう [標本調査]	3月 予備時間 21	教師學學授業	科書での 時数 : 140h <b>業時数 : 140h</b>
資質・能力  「最適要額に 思考力」  「学ない カカック カー カル    「	識及び技能 考力、判断 表現力等 に向かう力、 人間性等	・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や原 ・事象を数学化したり、数学的に解析したり、数学的に ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や ・数学的活動の楽しさや数学のよきを実態して粘り強く考 1章 文字式を使って説明しよう [多項式]  「多項式]  「19  「(本数と計算(小)・A数と式(中)」 ・数の中方相の必要性と意味。 平方根を具体的なり ・数の中方根の必要性と意味。 平方根を具体的なり ・数の中方根の必要性と意味。 中方根を具体的なり ・数の中方根の必要性と動味。 中月根を具体的なり ・のなについて相似の意味の理解。 ●相似な図形の相 (ご変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体的な事態の中の二つの放量関係が y=ax^2 に (ご変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体的な事態の中の二つの放量関係が y=ax^2 に (ごをごとは相似な目的です。) ・気体について相似の意味の理解。 ●相似な図形の相 (ご要とというに対して、一般ないである。) ・気体について相似の意味の理解。 ●相似な図形の様 (ご要でと関係(小4~6年)・(中)] ・気体では、対象で表現である。 ・全数調査と比較するなとして、標本・調査の必要性と ・を表現するなど、表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	来現・処理したりなる技能を身に付けている。 図形のなどの性質を見いべた統合的・発展的に考察する  まえ、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の 月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 15 16 副面で活用すること・創選をや近似値 国式の東法及び多項式を単項式で割る除法・●1次式  3段比、面補比、体積比についての理解・●4段の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること・●標本調査から母集団の傾向	の適程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。  7月 3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	● 他者の考えや思いに対する受容 11月 5章 形に注目して 図形の性質を調べよう [相似な図形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た、中点連絡定理の理解 ● 三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 朝すること	1 2月 6章 円の性質を 見りけて 証明しよう [円] 10 式を知り, 2次方程式を解べこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数 : 140h <b>業時数 : 140h</b>
知識を受験に対して、対し、思考力は、アイトのでは、対し、というないでは、対し、というないでは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	識及び技能考力、判断 表現力等 表現力力 人間性等	・ 野急を数学化したり、数学的に ・ 放学を活用して事象を論理がに考察する力、数量や ・ 放学を活用して事象を論理がに考察する力、数量や ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実施して粘り強く考	来現・処理したりなる技能を身に付けている。 図形のなどの性質を見いべた統合的・発展的に考察する  まえ、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の 月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 15 16 副面で活用すること・創選をや近似値 国式の東法及び多項式を単項式で割る除法・●1次式  3段比、面補比、体積比についての理解・●4段の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること・●標本調査から母集団の傾向	の適程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。  7月 3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	11月 5章 形に注目して 関形の性質を調べよう [相似な関形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た、中点連続定理の理解 ● 三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	1 2月 6章 円の性質を 見りけて 証明しよう [円] 10 式を知り, 2次方程式を解べこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数:140h (業時数:140h
振導要領に 対3目標 カカップ 大力 ・ 能力の三 つの柱	職及び技能 考力、判断 表現力等 に向かう力、 人間性等	・ 野急を数学化したり、数学的に ・ 放学を活用して事象を論理がに考察する力、数量や ・ 放学を活用して事象を論理がに考察する力、数量や ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実施して粘り強く考	来現・処理したりなる技能を身に付けている。 図形のなどの性質を見いべた統合的・発展的に考察する  まえ、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の 月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 15 16 副面で活用すること・創選をや近似値 国式の東法及び多項式を単項式で割る除法・●1次式  3段比、面補比、体積比についての理解・●4段の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること・●標本調査から母集団の傾向	の適程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。  7月 3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	11月 5章 形に注目して 関形の性質を調べよう [相似な関形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た、中点連続定理の理解 ● 三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	1 2月 6章 円の性質を 見りけて 証明しよう [円] 10 式を知り, 2次方程式を解べこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数:140h 樂時数:140h
振導要領に 対3目標 カカップ 大力 ・ 能力の三 つの柱	考力、判断 表现力力 人間性等	- 数学を活用して事象を論理的に考察する力,数量や - 数学的活動の楽しさや数学のよきを実施して粘か強く 4月  文字式を使って説明しよう [多項式]  「A教と計算(小)・A教と式(中)] ・会数中方相の必要性と固味・● 平方根を同体的な ・数の平方根を含む式の計算・単項式の原法と多り (医変化と関係(小4~6年)、(中)] ・自実体が記事をか中の二つの数量関係が y=ax^2 (「Dデータの活用(小)(中)] ・全数調査と比較するなどして、標本調査の必要性と  「A教と計算(小)・A教と式(中)] ・(私と計算(小)・A教と式(中)] ・(私と計算(小)・A教と式(中)] ・(本と計算の方法と関連付けて、数の平方相 (国際ドハ)(中)] ・(本と計算の方法と関連付けて、数の平方相 (国際ドハ)(中)] ・(本と計算の方法と関連付けて、数の平方相 (国際ドハ)(中)] ・(本と計算の方法と関連付けて、数の平方相 (国際ドハ)(中)] ・(本)・一角形を用機の条件などを基にして図形の基本的な性	図形のなどの性質を見いたし続合的・発展的に考察する  考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の  月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 16 個面で活用すること ●誤差や近似値 目式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ●1次式 3段比、面積比、体積比についての理解 ●相似の図 こついての理解(表、式、グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向	の適程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。  7月 3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	5章 形は注目して 図形の性質を調べよう [相似な図形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た,中点連結定理の理解 ●三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	6章 円の性質を 見つけて 証明しよう [円] 10 式を知り,2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数:140h 業時数:140h
カル 字が 人 カル 字が 人 人 子	表現力等 (元向於方力, 人間性等	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く等  1章 文字式を使って説明しよう [多項式]  [多項式]  [A数と計算(小)・A数と式(中)] ・数の中方根心必要せた動が、・単五式の東法と参り、 80の中方根心を登せた動が、・単五式の東法と参り、 60本について相似の意味の理解・・単五式の東法と参りに (C変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体的姿事象の中の一つの数量関係が y=ax^2 に (C変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体的姿事象の中の一つの数量関係が y=ax^2 に (C変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体が多事象の中の一つの数量関係が y=ax^2 に (C変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体が多事象の中の一つの数量関係が y=ax^2 に (C変化と関係(小4~6年)・(中)] ・異体の事務の中の一つの数量関係が y=ax^2 に (E放送計算(小)・A数と式(中)] ・風に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方板 (E図形で)(小中)] ・風に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方板 (E図形で)(小中)] ・風に学習した計算の方法と関連が対すて ・第一条の単独の相似条件などを基にして図形の基本的な性	月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 16 30世界をさらにひろげよう [平方根] 16 場面で活用すること ●調差や近似値 現式の東法及び多項式を単項式で割る除法 ●1次式 34似比、面積比、体積比についての理解 ●4相似の図。こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向	の適程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。  7月 3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 が、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	9月 10月 4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  17  17  17  17  17  17  17  1	5章 形は注目して 図形の性質を調べよう [相似な図形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た,中点連結定理の理解 ●三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	6章 円の性質を 見つけて 証明しよう [円] 10 式を知り,2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数:140h 業時数:140h
3年 配当時間 知識	<b>上</b>	4月 5. 1章 文字式を使って説明しよう [多項式]  [多項式]  [多項式]  [8項式]  [49項式]  [59項式]  [59項式]  [59項式]  [59項式]  [59項式]  [59項式]  [59項式]  [590円方根を含む式の計算 ● 年方根を具体的なり、 (59化と関係(小へ・6年)・(中)) ● 具体的な事象の中の二つの数量関係が y=ax^2 に [59化と関係(小へ・6年)・(中)] ● 異体的な事象の中の二つの数量関係が y=ax^2 に [59化と関係(小)(中)] ● 全数調査と比較するなとして,標本調査の必要性と  [6数と計算(小)・A数と式(中)] ● 派に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方板 [8回形(小)(中)] ● 第一角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性  2 ・	月 6月 2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根]  15    国面で活用すること・● 調整や近似値 対の東法及び多項式を単項式で割る除法・● 1 次式   3 次比,面積比、体積比についての理解・自相似の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること・● 標本調査から母集団の傾向	7月 8・3章 万程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  15  2の乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな薪合で拡入 の、グラフの特徴や変化の薪合など関数の理解を一層深 珍理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  性と意味及びその解の意味 ●因数分解したり平方の もしたり絡小したりした図をがこと ● 平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関	5章 形は注目して 図形の性質を調べよう [相似な図形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た,中点連結定理の理解 ●三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	6章 円の性質を 見つけて 証明しよう [円] 10 式を知り,2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数:140h 業時数:140h
配当時間 知識 を・能力の三 つの柱	識及び技能	1章 文字式を使って説明しよう [多項式]  [多項式]  [9項式]  [19  (	2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根]  15  掲面で活用すること ● 調整や近砂値 両式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ● 1 次式  4収比、面積比、体積比についての理解 ● 相似の図に こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ● 標本調査から母集団の傾向	3章 方程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式]  15  15  たの果法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな割合で拡大 が、グラフの特徴や変化の割合なと関数の理解を一層深 の地理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	4章 関数の世界をひろげよう [y=ax^2]  17  17  性と意味及びその解の意味 ●因数分解したり平方の もしたり絡小したりした図をがこと ● 平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関	5章 形は注目して 図形の性質を調べよう [相似な図形] 23 の形に変形したりして解くこと ●解の公 た,中点連結定理の理解 ●三角形の 数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	6章 円の性質を 見つけて 証明しよう [円] 10 式を知り,2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	8章 集団全体の 傾向を推測 しよう [標本調査]	予備時間	教師學學授業	科書での 時数:140h 業時数:140h
配当時間 知識 を・能力の三 つの柱	識及び技能	[多項式]  19 [(A放と計算(小)・A放と式(中)] ●数の平方根を含すなの計算(小)・A放と式(中)] ●数の平方根を含すなの計算(中)・単項式の東法と多り [B図形(小)(中)] ●立体について相似の意味の理解 ●相似な図形の相 ((変化と関係(小4~6年)・(中)) ●具体的な事象の中の二つの数量関係が y=ax^2 to [Dデータの活用(小)(中)] ●主教調査と比較するなとして,標本調査の必要性と  [(A数と計算(小)・A数と式(中)] ●派に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方相 [B図形(小)(中)] ●流に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方相 [B図形(小)(中)]	[甲方根]  15  副面で活用すること ●調差や近め値 同式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ●1次式 3段比,面積比,体積比についての理解 ●相似の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 現を含む式の計算の方法を考察し表現すること ●数の羽	問題を解決しよう [2次方程式]  15  15  2の果法,式の展開と因数分解 ● 2次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために,いろいろな割合で拡大 が、グラフの特徴や変化の割合など関数の理解を一層深 改を理解すること ● 標本調査か5母集団の統計量を求	[y=ax^2]  17  17  性と意味及びその解の意味 ●因数分解したり平方の にしたり縮小したり止回をかくこと ●平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関 めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え,設め	図形の性質を関へよう [相似な図形]  23  の形に変形したりして解くこと ●解の公 た、中点連絡定理の理解 ● 三角形の は、中点連絡定理の理解 ● 三角形の は、中点連絡定理の理解 ● 三角形の は、中点連絡定理の理解 ● 三角形の は、中点連絡定理の理解 ● 三角形の	見づけて 証明しよう [円] 10 式を知り、2次方程式を解ぐこと の相似条件についての理解 ●円周	[三平方の定理] 13	傾向を推測 しよう [標本調査]		標準授業	時数:140h 業時数:140h
配当時間 知識 を・能力の三 つの柱	識及び技能	[A数と計算(小)・A数と式(中)]  ●数の平方根の必要性と意味。 平方根を具体的ない  ●数の平方根の必要性と意味。 平方根を具体的ない  ●数の平方根を含む式の計算。 単項式の東法と多項  [B図形(小)(中)]  ●3は本(つ)とて相似の意味の理解。 ●相似な図形の権  [C変化と関係(小4~6年)・(中)]  ●3は称り事事の中の二つの放置関係が y=ax^2 に  [Dグーラの活用(小)(中)]  ●全数調査と比較するなとして,標本調査の必要性と  [A数と計算(小)・A数と式(中)]  ●成に学習した計算の方法と間達付けて,数の平方框  [B図形(小)(中)]  ● 二角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性  2・角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性  2・角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性  2・角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性  2・角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性	15 細面で活用すること ● 誤差や近心値 頁式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ● 1 次式 目似比、面積比、体積比についての理解 ● 4相似の図: こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ● 標本調査から母集団の傾向 現を含む式の計算の方法を考察し表現すること ● 数の可	15  この東法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな割合で拡大 が、グラフの特徴や変化の割合など関数の理解を一層深 がを理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	17   性と意味及びその解の意味 ●因数分解したり平方の  にしたり縮小したりした図をかくこと ●平行線と線分の比  ある) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関  こめること ●標本調査により母集団の傾向を捉え, 説見	23  の形に変形したりして解くこと ●解の公  た、中点連絡定理の理解 ●三角形の  3数 y=ax^2を用いた具体的な事象の  明すること	[円] 10 式を知り、2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ● 円周	13	[標本調査] 6		標準授業	業時数: 140h
知識	識及び技能	●数の平方根の必要性/豊康・ ● 平方根を良体的な・ 数の平方根を含む式の計算 ● 単項式の東法と多り [国図形(小)(中)) ● ① 中の ・	周面で活用すること ●譲差や近似値 頂式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ●1次式 引似比,面積比,体積比についての理解 ●相似の図。 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 現金合む式の計算の方法を考察し表現すること ●数の円	この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな割合で拡大 り、グラフの特徴や変化の割合など関数の理解を一層深 りを理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	にしたり締小したりした図をかくこと ●平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関 込めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え,説印	の形に変形したりして解くこと ●解の公 た、中点連絡定理の理解 ● 三角形の 対数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	10 式を知り、2次方程式を解くこと の相似条件についての理解 ●円周	<del></del>	6		横浜	
知識	識及び技能	●数の平方根の必要性/豊康・ ● 平方根を良体的な・ 数の平方根を含む式の計算 ● 単項式の東法と多り [国図形(小)(中)) ● ① 中の ・	周面で活用すること ●譲差や近似値 頂式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ●1次式 引似比,面積比,体積比についての理解 ●相似の図。 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 現金合む式の計算の方法を考察し表現すること ●数の円	この乗法、式の展開と因数分解 ● 2 次方程式の必要 形のイメージを豊かにするために、いろいろな割合で拡大 り、グラフの特徴や変化の割合など関数の理解を一層深 りを理解すること ● 標本調査から母集団の統計量を求	にしたり締小したりした図をかくこと ●平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関 込めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え,説印	の形に変形したりして解くこと ●解の公 た、中点連絡定理の理解 ● 三角形の 対数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	の相似条件についての理解 ●円周	<del></del>	三平方の定理が発見。		浜	知識・技能
・能力の三 つの柱	 	●数の平方根の必要性/豊康・ ● 平方根を良体的な・ 数の平方根を含む式の計算 ● 単項式の東法と多り [国図形(小)(中)) ● ① 中の ・	両式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ●1次式 3段比,面積比,体積比についての理解 ●相似の図 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 現象を含む式の計算の方法を考察し表現すること ●数の円	形のイメージを豊かにするために、いろいろな割合で拡大 。,グラフの特徴や変化の割合など開鉄の理解を一層深 pを理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	にしたり締小したりした図をかくこと ●平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関 込めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え,説印	と,中点連結定理の理解 ●三角形の 割数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	の相似条件についての理解 ●円周	角の定理や三平方の定理の理解 ●	三平方の定理が発見る	された歴史的背景を知ること	浜	知識・技能
能力の三 Dの柱	職及び技能	[国図形(小)(中)]  ●女体二シルご相似の意味の理解 ●相似な図形の框 [で変化と関係(小4~6年)・(中)] ・具体的な事業の中の二つの放置関係が y=ax^2 に (Dデータの活用(小)(中)] ・全数調査と比較するなどして,標本調査の必要性と)  「A数と計算(小)・A数と式(中)] ・風に学習した計算の方法に削速付けて,数の平方框 [B図形(小)(中)] ・風に学習した計算の方法に削速付けて,数の平方框 (B図形(小)(中)] ・通・角形を用根(条件などを基にして図形の基本的な性	3段比,面積比,体積比についての理解 ●相似の図。 こついての理解(表,式,グラフを相互に関連付けなから 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 3を含む式の計算の方法を考察し表現すること ●数の円	形のイメージを豊かにするために、いろいろな割合で拡大 。,グラフの特徴や変化の割合など開鉄の理解を一層深 pを理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	にしたり締小したりした図をかくこと ●平行線と線分の比 める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関 込めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え,説印	と,中点連結定理の理解 ●三角形の 割数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること	の相似条件についての理解 ●円周	角の定理や三平方の定理の理解 ●	三平方の定理が発見る	された歴史的背景を知ること	浜	知識・技能
・能力の三  つの柱	織及び技能	[C変化と関係(小4~6年)-(中)]  ●具体的事務の中の二つの数量関係が y=ax^2 ( [Dデータの活用(小)(中)]  ●全数調査と比較するなとして, 標本調査の必要性と  [A数と計算(小)、A数と式(中)]  ●既に学習した計算の方法と関連付けて, 数の平方板  [B図形(小)(中)]  ● 悪の手間根の条件などを基にして図形の基本的な性  ② 一角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性	こいての理解(表, 式, グラフを相互に関連付けながら 意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 は と を 記述の計算の方法を考察し表現すること ●数の円	。, グラフの特徴や変化の割合など関数の理解を一層深 のを理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	める) ●関数 y=ax^2の変域についての考察 ●関 2めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え, 説卓	引数 y=ax^2を用いた具体的な事象の 明すること		角の定理や三平方の定理の理解 ●	三平方の定理が発見さ	された歴史的背景を知ること	浜	知識·技能
i・能力の三 つの柱	識及び技能	●具体的な事像の中の二つの数量関係が y=ax^2 i [Dデータの活用(小)(中)] 全 変調音と比較するなとして,標本調音の必要性とが [A数と計算(小)・A数と式(中)] ●既に学園に計算の方法と関連付けて,数の平方板 [B図形(小)(中)] ○ 無角を利用収条件などを基にして図形の基本的な性	意味の理解を深めること ●標本調査から母集団の傾向 は は も も も も も も も も も も も も の は の は の は	のを理解すること ●標本調査から母集団の統計量を求	めること ●標本調査により母集団の傾向を捉え,説見	明すること	D說明				浜	知識・技能
つの柱		●全数調査と比較するなとして,標本調査の必要性とが [A数と計算(小)・A数と式(中)] ●既に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方布  園形(小)(中)] ●三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性	Rを含む式の計算の方法を考察し表現すること ◆数のP								浜	
つの柱		[A数と計算(小)・A数と式(中)] ●既に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方布 [B図形(小)(中)] ● 西角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性	Rを含む式の計算の方法を考察し表現すること ◆数のP								浜	
つの柱		<ul><li>●既に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方板 [B図形(小)(中)]</li><li>●三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性</li></ul>		平方根を具体的な場面で活用するごと ◆既に学習した	:計算の方法と関連付けて, 式の展開や因数分解をす	なちはを参究し事相すること ●田塾					浜	
つの柱		<ul><li>●既に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方板 [B図形(小)(中)]</li><li>●三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性</li></ul>		平方根を具体的な場面で活用すること ●既に学習した	計算の方法と関連付けて,式の展開や因数分解をす	「ス方注か李窓」・李相オスごと ●田粉					版	
つの柱		<ul><li>●既に学習した計算の方法と関連付けて,数の平方板 [B図形(小)(中)]</li><li>●三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性</li></ul>		平方根を具体的な場面で活用すること ●既に学習した	計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をす	ス方法を参照し実現すること ●田数・					で	
		●三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性	FF- 74 THE			577/A € 15 7KO 18-7K 9 SCC ■ KN9A.	分解や平方根の考えを基にして, 2	と次方程式を解く方法を考察し表現す	ること ● 2 次方程式を	を具体的な場面で活用すること	Ø	
		「C赤ルト間板(小4。5年)、(由)]	- 質を論埋的に傩かめること ● 平行線と縁分の比につい	ての性質を見いだし、それらを確かめること ●相似な区	図形の性質を具体的な場面で活用すること ●円周角と	と中心角の関係を見いだすこと ●円盾	引角と中心角の関係を具体的な場面		記いだすこと ●三平方の	の定理を具体的な場面で活用すること	呼び	
思考	考力、判断										方	思考·判断·
カ、		<ul><li>● 関数 Y=ax^2として捉えられる Jの数量にJいて, [Dデータの活用(小)(中)]</li></ul>	変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互	』に関連付け(考察し表現すること ●関数 y=ax^2を	(用いく具体的な事象を捉え考察し表現90こと							現
		●標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現するこ	こと ●簡単な場合について標本調査を行い、母集団の	傾向を推定し判断すること								
		[A数と計算(小)・A数と式(中)] [B図形(小)(中)] [	C変化と関係(小4~6年)・(中)] [Dデータの活用(小)	(中)]							-	
	に向かう力、		考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題的		5様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を	養う						主体的に学習
٨	人間性等											取り組む態度
	Į			2次方程式について	関数 y=ax^2 について	平面図形について	円周角と中心角(円)について	三平方の定理について	標本調査について		١	
		[知識・技能] ①単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除	[知識・技能] ①必要性と意味を理解している	[知識・技能] ①必要性と意味及びその解の意味を理解している	[知識・技能] ①理解している	[知識・技能] ①平面図形の相似の意味及び三角	[知識・技能] ①意味を理解し、それが証明できる		[知識・技能] ①必要性と意味	\	1)	
		法の計算をすることができる ②簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いることがで	<ul><li>②有理数,無理数の意味を理解している</li><li>③簡単な式の計算をすることができる</li></ul>	②平方の形に変形し解くことができる ③解の公式の意味を理解し、それを用いて解くことができ	②事象の中にこれとして捉えられるものがあることを知ってい ス	形の相似条件について理解している ②相似な平面図形の相似比と面積	とを知っている ②定理の逆が成り立つことを知ってい	とを知っている ②利用して,直角三角形の辺の長さ	を理解している ②コンピュータなど	\	1\	
	ā	ಕಿ	④具体的な場面でこれらを用いて表したり処理したりするこ	<b>ক</b>	③表,式,グラフを用いて表現したり,処理したりすること	比の関係について理解している	<b>వ</b>	を求めることができる	の情報手段を用い		1\	
			とができる [思考・判断・表現]	<ul><li>④因数分解を利用して解くことができる</li><li>⑤事象の中の数量やその関係に着目し、式を作ることがで</li></ul>	ができる ④いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解して	③基本的な立体の相似の意味を理 解し、相似な立体の相似比と表面積	[思考・判断・表現] ①関係を見いだすことができる	③定理の逆が成り立つことを知っている	るなどして無作為に 標本を取り出し,		1\	
	1	表現することができる ②文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え		きる [思考・判断・表現]	いる [思考・判断・表現]	の比や体積比の関係について理解して いる	<ul><li>②具体的な場面で活用することができる。</li></ul>	[思考・判断・表現] ①見いだすことができる	整理することができ	\	1 \	
		説明することができる	②具体的な場面で活用することができる	①平方根や因数分解の考えをもとにして,解く方法を考	①これとして捉えられる2つの数量について、変化や対応		[主体的に学習に取り組む態度]	②具体的な場面で活用することがで	[思考・判断・表	\	\	
		[主体的に学習に取り組む態度] ①必要性と意味を考えようとしている	①必要性と意味を考えようとしている	察し表現することができる ②具体的な問題の解決に活用し、解が適切であるかどう	の特徴を見いだし,表,式,グラフを相互に関連付けて考 察し表現することができる	し,近似値を a×10^n の形に表現 することができる	<ul><li>①関係を見いだそうとしている</li><li>②学んだことを生活や学習に生かそう</li></ul>	きる [主体的に学習に取り組む態度]	現] ①方法や結果を		1 \	
		<ul><li>②学んだことを生活や学習に生かそうとしている</li><li>③問題解決の過程を振り返って検討しようとしている</li></ul>	<ul><li>②学んだことを生活や学習に生かそうとしている</li><li>③問題解決の過程を振り返って検討しようとしている</li></ul>	かを判断することができる [主体的に学習に取り組む態度]	②具体的な事象を捉え考察し表現することができる [主体的に学習に取り組む態度]	[思考・判断・表現] ①三角形の相似条件などを基にして	としている ③問題解決の過程を振り返って検討	<ul><li>①関係を見いだそうとしている</li><li>②学んだことを生活や学習に生かそう</li></ul>	批判的に考察し表 現することができる	\	1 \	
		SINGSTRACTION OF THE SECOND SE	SIMES PARTIE CARROLL CO. S	<ol> <li>必要性と意味を考えようとしている</li> </ol>	<ol> <li>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性</li> </ol>	図形の基本的な性質を論理的に確か		としている	②簡単な場合に	\	1 \	
				<ul><li>②学んだことを生活や学習に生かそうとしている</li><li>③問題解決の過程を振り返って検討しようとしている</li></ul>	質を論理的に確かめることができる ②平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを	めることができる ②平行線と線分の比についての性質		③問題解決の過程を振り返って検討しようとしている	行い, 母集団の 傾向を推定し判断	\	1	\
					確かめることができる ③相似な図形の性質を具体的な場面で活用することがで	を見いだし、それらを確かめることができ			することができる [主体的に学習	\		\
単元目標·到達目	目標				きる	③相似な図形の性質を具体的な場			に取り組む態度]	\		\
						面で活用することができる 「主体的に学習に取り組む態度」			①必要性と意味 を考えようとしてい	\		\
						①図形の相似の意味や, 相似な図			<b>ప</b>	\		\
						形の相似比と面積比や体積比の関係 を関係を考えようとしている			②学んだことを生 活や学習に生かそ	\		\
						②図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている			うとしている ③問題解決の過	\		\
						③相似な図形の性質を活用した問			程を振り返って検	\		/
						題解決の過程を振り返って検討しようと している			討しようとしている	\		\
										\		\
										\		\
										\		/
										\		,
										\		
										\	\l	

# 理科 年間指導計画(1年)

	で育成を	学習の基盤と	なる資質・能力		現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力		
	指す ・能力 	く言語	能力>		<自分づくり>		
	連付けた・能力	事実を大また	かに捉える力		基本的生活習慣をつくる態度		
学習指導要領における目標	知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	3,実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。				
	力、人間性等	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 4月 5月 6月	7月 8・9月 10月	11月 12月	1月 2月 3月	1	IL*h소티
1	年	4月 5月 6月 6月 6月 自然の中にあふれる生命 いろいろな生物とその共通点 【生命】 ・身のまわりの生物の観察 1章 植物の特徴と分類 ・花のつくり(観察)・葉と根のつくり(観察) ・生物のなかま分け 2章 植物の特徴と分類 ・動物の体のつくりと生活(観察)	3・9万   1 0万   1 0万	<ul> <li>光・音・カによる現象(エネルギー)</li> <li>(実験)</li> <li>1章 光による現象</li> <li>・光が鏡ではね返るときの進み方・空気と水の間での光の進み方・空気と水の間での光の進み方・凸レンズによってできる像・音のちがいと振動のようすの関係・カの大きさとばねののびの関係</li> <li>3章 力による現象</li> <li>・2カがつり合うための条件</li> </ul>	1万 2万 3万 3万 活きている地球(地球) ・地震のゆれはじめの特徴(実習) 1章 身近な大地 ・マグマの性質と火山の形の関係(実験) 2章 ゆれる大地 ・火成岩の観察(観察) ・堆積岩の観察(観察) ・地層の観察(観察)		時数合計 での 数:105 h 業時数:120 h
配当	4時間	9 19	28	25	24		
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	は、実施点でもは、 は、大通点でもは、 は、大通点でもは、 は、大通点でもは、 は、大通点でもなって、 は、かあることを見いだして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	<ul> <li>④物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解すること。</li> <li>⑤物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解すること。</li> <li>身の回りの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現すること。</li> <li>身の回りの物質や水溶液、状態変化等に関する事物・現象に対する気付きから問題を見いだして解決しようとする。</li> </ul>	方との関係を見いたして理解すること。 ③音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いたして理解すること。 ④物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いたして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知ること。また物体に働く2力についての実験を行い、力がつり合うときの条件を見いたして理解すること。 身近な物理現象について、問題を見いたし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いたして表現すること。 光や音、力に関する事物・現象に対する気付きから問題を見いたして解決しようとする。	と。     ④地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。     ⑤自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解すること。     大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現すること。	横浜版での呼び方	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り 組む態度
主に重視する	架究の学習過程		自然の事物・現象に進んで関わり、その	 中から問題を目いだす			
見方・考え方を	が働かせている姿	・身近な生物を、多様性と共通性の視点で捉え、様々な環境の中でそれぞれ特徴のある生物が生活していることを見いだしている姿 ・観察した植物や動物を、共通点や相違点に着目して比較し、見いだした共通点や相違点を基にして、植物や動物の分類の仕方について考えている姿。	・物質を同定する方法を小学校で学んだ内容を振り返って計画し、物質がもつ固有の性質を質的・実体的な視点で比較し、整理している姿。 ・未知の物質を定性的な視点で比較し、共通点と相違点に着目して、物質を同定している姿。 ・物質の水への溶解を粒子のモデルを用いて微視的に捉えている姿。 ・水溶液から溶質を取り出すことができることを質的・量的な視点で捉え、溶解度と関連付けて考察している姿。	・光の進み方に関する身近な現象を量的・関係的な視点で捉え、幾何光学的な規則性に気付いている姿。 ・物体と凸レンズの距離を変え、実像や虚像ができる条件を関係的な視点で捉え、像の位置や大きさ、像の向きについての規則性を見いだしている姿。	・過去から現在にかけて、どのような環境の変化が起こっていたのか時間的・空間的に捉え、地層をつくる構成物を比較することから、問題を見いだしている姿。 ・地層のでき方や重なり方の規則性について、時間的・空間的に捉え、モデル実験の結果と関連付けて考察している姿。 ・火山の形や含まれている鉱物の割合などを量的・関係的な視点で捉え、地下にあるマ	理科における「見方」	「エネルギー」 量的・関係的な視点 「粒子」 質的・実体的な視点 「生命」 多様性と共通性の視点 「地球」 時間的・空間的な視点

# 理科 年間指導計画(2年)

学校で	育成を		学習の基盤となる資質・能力		現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力	
	旨す ・能力		く言語能力>		<自分づくり>	
理科と関			深し自分の考えを深化させる力 応じて伝えるべきことを整理する力		<ul><li>○主体性・積極性</li><li>○課題に対応する力</li></ul>	
学習指導要領における目標	知識及び技能 別考力、判断力、表現力等学びに向かう力、人間性等	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するため 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度		0 11 12	1 2 3	時数合計
,		地球の大気と天気の変化 ・気象要素の観測(観測)・空気の体積変化と雲のできた。 1章 地球をとり巻く大気のようす (実験)・空気中の水蒸気量の推定 2章 大気中の水の変化 ・空気中の水蒸気量の推定 (実験)・日本付近における低気圧や高 気圧の動きと日本の四季 ・日本付近における低気圧や高 気圧の動きと天気の変化(実 習) 生物の体のつくりとはたらき	<ul> <li>化学変化と原子・分子</li> <li>・炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化(実験)</li> <li>・水に電流を流したときの変化(実験)</li> <li>・鉄と硫黄の混合物を加熱したときの変化(実験)</li> <li>・鉄と硫黄の混合物を加熱したときの変化(実験)</li> </ul>	生物の体のつくりとはたらき	電流とその利用       ・階段の照明の回路(実習)         ・回路に加わる電圧(実験)       ・電圧と電流の関係(実験)         1章 電流の正体       ・電流による発熱量(実験)         3章 電流と磁界       ・静電気による力(実験)         ・電流がつくる磁界(実験)	教科書での 配当時数 : 123h 標準授業時数 : 140h
配当		26 ①気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解すること。また、	30 ①物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質は元の物質とは異なることを見い	34  ①生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び	33 33 「①回路を作り、回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や	
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	気圧を取り上げ、圧力についての実験を行い圧力は力の大きさと面積に 関係あることを見いだして理解するとともに、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さと関連付けて理解すること。 ②校庭などで気象観測を継続的に行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を身に付けること。 ③霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解すること。	だして理解すること。 ②物質は原子や分子からできていることを理解すとともに、物質を構成する原子の種類は記号であらわされることを知ること。 ③2種類の物質を反応させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解すとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解すること。 ④酸化や還元のの実験を行い、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解すること。 ⑤化学変化によって熱を取り出す実験を行い、化学変化には熱の出入りが伴うことを見いだして理解すること。 ⑥化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を行い、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解すること。 ⑦化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、反応する物質の質量の間	植物と動物の細胞のつくりの特徴を見出して理解するとともに、観察記後の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 ②植物の葉、茎、根のつくりについて観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散の働きに関する実験の結果を関連付けて理解すること。 ③消化や呼吸について観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の欠陥度と関連付けて理解すること。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解すること。	各部に加わる電圧についての規則性を見いだして理解すること。 ②金属線に加わる電圧と電流を測定する実験を行い、電圧と電流の関係を見いだして理解するとともに、金属線には電気抵抗があることを理解すること。 ③電流によって熱や光などを発生させる実験を行い、熱や光などが取り出せること及び電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだして理解すること。 ④異なる物質同士をこすり合わせると静電気が起こり、帯電した物体間では空間を隔てて力が働くこと及び静電気と電流には関係があることを見いだして理解すること。 ⑤磁石や電流による磁界の観察を行い、磁界を磁力線で表すことを理解するともに、コイルの周りに磁界ができることを知ること。 ⑥磁石とコイルを用いた実験を行い、磁界ちゅうのコイルに電流を流すと力が働くことを見いだして理解すること。 ⑦磁石とコイルを用いた実験を行い、コイルや磁石を動かすことにより電流が得られること	<b>知識・技能</b> 横浜版での呼
		気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して 観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化 や日本の気象についての規則性や関係性を見出して表現するこ	の変化やその量的な関係を見いだして表現すること。		察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静	び 方 思考・判断・表現
	学びに向かう カ、人間性等	・天気の変化や大気の動き等に関する事物・現象に対する気付きから問題を見出 して解決しようとする。 ・天気の変化や大気の動き等に関する事物・現象の理解が深まることによって、新 たな問題を見出そうとする。 ・自然を敬い、気象災害を意識して生活しようとする。	16.55 a 3.65 t 1 17.45 t 1.65 (1994) 7 THE PARTY OF THE P	・動物・植物の体とつくり等に関する事物・現象に対する気付きから問題を見出して解決しようとする。 ・日常生活との関連や理科を学ぶことの面白さや有用性に気づごうとする。 ・生命現象が精妙な仕組みに支えられていることに気づき、生命を尊重しようとする。	<ul><li>・電流と磁界に関する事物・現象の理解が深まることによって、新たな問題を見いだそうとする。</li><li>・電流と磁界に関する事物・現象について、日常性かるとの関連や理科を学ぶことの面白さ、有用</li></ul>	主体的に学習に取り組む態度
主に重視する	探求の学習過 呈		解決する方法を立案し, その			
	を働かせている そ	・気象要素の変化と天気の特徴の関係を見出すために、それぞれの気象要素をの時間変化を比較し、どのような変化をしているのか時間的・空間的な視点で考えている姿。 ・前線付近での雲の構造や、暖気・換気の構造を時間的・空間的に捉え、雨の降り方や気象要素の変化と関係付けて分析・解釈している姿。 ・時間的・空間的かつ部分(日本周辺)から全体(アジアや北半球)として気象現象を捉え、気団や地形と関係付けて気象現象を説明している姿。 ・自然を多面的・総合的に捉えながら、科学的な根拠に基づいて気象災害と日本の気象の特徴を関係づけて考えている姿。	・化学変化で起こる現象を微視的、量的・関係的な視点で捉え、原子の組み合わせと 化学変化の前後の粒子の数を関係づけて考察している姿。 ・銅やマグネシウムなどの金属が酸化するときの化学変化を量的・関係的な視点で捉え、 グラフから金属と酸素が一定の割合で反応することを原子や分子のモデルと関係づけて微 視的に捉えて考察する姿。	細胞の特徴を、それぞれの生活と関連付けて考えている姿。 ・植物の体を、つくりと働きの視点で捉え、水などの物質の移動に着目しながら、光合成、呼吸、蒸散などの実験の結果と関係付けて考えている姿。 ・動物の消化・吸収、呼吸、血液循環などの働きを、物質交換押し点で	捉え、電流と電圧の働きについて規則性や関係性を見出して表現している姿。 ・電流が磁界との相互作用で受ける力や電磁誘導の現象などを量的・関係的な視点で	理 [エネルギー] 対 量的・関係的な視点 に [粒子] 質的・実体的な視点 る 「生命」 多様性と共通性の視点 方 [地球」 時間的・空間的な視点

# 理科 年間指導計画(3年)

学校で 目排	育成を	学習の基盤と	なる資質・能力		現実的な諸課題に対応して求めら	れる資質・能力	
	fig ·能力 	く言語	能力>		く自分づくり	>	
	連付けた・能力		頼性を吟味する力 かりやすく伝える力	夢や	目標をもち、生き方を 協働的に行動す		
学習指導要領における日	知識及び技能 思考力、判断 力、表現力等 学びに向かう	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。				
	力、人間性等	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			<b>公</b> 田		마= *fr 스트나
子	期	前期			後期		時数合計
3	年	化学変化とイオン【物質】 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	生命の連続性【生命】 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	<ul><li>運動とエネルギー【エネルギー】</li><li>1章 力のつり合い</li><li>2章 物体の運動</li><li>3章 仕事とエネルギー</li><li>4章 多様なエネルギーとその移り変わり</li><li>5章 エネルギー資源とその利用</li></ul>	宇宙を観る【地球】 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 様々な物質の利用と人間 3章 科学技術と人間 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	教科書での 配当時数: 128 h 標準授業時数: 140 h
配当	4時間	27	20	34	20	27	-
<b>次质 牝</b> +0	知識及び技能	<ul> <li>①水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものとがあることを見いだして理解すること。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを知ること。</li> <li>②酸とアルカリの性質を調べる実験を行い、酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知ること。</li> <li>③中和反応の実験を行い、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解すること。</li> <li>④金属を電解質水溶液に入れる実験を行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解すること。</li> <li>⑤電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を行い、電池の基本的な仕組みを理解するとともに、化学エネルギーに変換されていることを知ること。</li> </ul>	①体細胞分裂の観察を行い、その順序性を見いだして理解するとともに、細胞の分裂と生物の成長とを関連付けて理解すること。②生物の殖え方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだして理解するとともに、生物が殖えていくときに親の形質が子に伝わることを見いだして理解すること。③交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わるときの規則性を見いだして理解すること。④現存の生物及び化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けて理解すること。	①水圧についての実験を行い、その結果を水の重さと関連付けて理解すること。また、水中にある物体には浮力が働くことを知ること。 ②力の合成と分解についての実験を行い、合力や分力の規則性を理解すること。 ③物体の運動についての観察、実験を行い、運動には速さと向きがあることを知ること。 ④物体に力が働く運動及び力が働かない運動についての観察、実験を行い、力か働く運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わること及び力が働かない運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わること及び力が働かない運動では物体は等速直線運動することを見いたして理解すること。 ⑤仕事に関する実験を行い、仕事と仕事率について理解すること。また、衝突の実験を行い、物体のもつ力学的エネルギーは物体が他の物体になしうる仕事で測れることを理解すること。 ⑥力学的エネルギーに関する実験を行い、運動エネルギーと位置エネルギーが相互に移り変わることを見いだして理解するとともに、力学的エネルギーの総量が保存されることを理解すること。	①天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解すること。 ②星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解すること。 ③観測資料などを基に、惑星と恒星などの特徴を見いだして理解するとともに、太陽系の構造について理解すること。 ④月の観察を行い、その観察記録や資料	①自然界のつり合いについて基本的な概念や原理・法則などを理解していること ②物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解すること。また、物質の有効な利用が大切であることを理解すること。 ③科学技術の発展の過程を理解すること。また、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを理解すること。 ④自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通して、持続可能な社会をつくることが重要であることを理解すること。	知識・技能 横浜 版 で の 呼
		化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。		運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。	マの仕中は次則まれた。 マクグロー エルの字針 ロコ	どを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然	方 思考・判断・表現
		酸・アルカルや電池等に関する事物・現象に対する気付きから問題を見いだして解決しようとする。 酸・アルカルや電池等に関する事物・現象の理解が深まることによって、新たな問題を見いだそうとす る。 課題の解決に粘り強く挑戦しようとする。	だして解決しようとする。	カと運動、力学的エネルギー等に関する事物・現象に対する気付きから問題を見いだして解決しようとする。 力と運動、力学的エネルギー等に関する事物・現象の理解が深まることによって、 新たな問題を見いだそうとする。 科学的な根拠に基づき適切に判断しようとする。	身近な天体とその運動、太陽系等に関する事物・現象に対する気付きから問題を見いたして解決しようとする。 身近な天体とその運動、太陽系等に関する事物・現象の理解が深まることによって、新たな問題を見いだそうとする。 地球と宇宙に関する事物・現象を日常生活との関連や理科を学ぶことの面白さ、有用性に気付こうとする。	エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用に対する気付きから問題を見いたして解決しようとする。 エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用の理象が深まることによって、新たな問題を見いだそうとする。 科学技術と自然界に関する事物・現象を日常生活との関連や理科を学ぶことの面白さ、有用性に気付こうとする。	主体的に学習に取り組む態度
主に重視する招	深究の学習過程		自然の事物・現象に進んで関れ	りり、その中から問題を見いだす。			
見方・考え方を		電解質水溶液中で起こっている現象を微視的な視点で捉え、探究の過程を振り返って原子の存在だけでは説明できないことからイオンの存在に気付いている姿。 様々な中和で起こる現象を微視的な視点で捉え、生成する塩を酸・アルカリの種類と関係付けて考えている姿。 金属のイオンへのなりやすさが異なることを質的・関係的に捉え、これまでの学習の過程を踏まえてイオンのモデルと関連付けて考えたり、得られた結果を表にまとめたりして分析している姿。	的な視点で捉え、体細胞分裂の過程の順序性と関係付けて考えている 姿。	カのつり合い、浮力等を関係的な視点で捉え、台ばかりが示す値を根拠に基づき、判断している姿。 物体の運動に関する現象を質的・関係的な視点で捉え、物体に働く力と物体の運動の様子、物体に力が働くときの運動と働かないときの運動についての規則性を見いだしている姿。 位置エネルギーや運動エネルギー、力学的エネルギーの保存の実験を振り返り、量的・関係的な視点で比較し、探究の過程における妥当性を検討している姿。	り、モデルを用いた実験で太陽の1日の動きを記録したりすることを通して、太陽の位置の変化を時間的・空間的な視点で考えている姿。 観察に基づいて、地球と月、地球と金星の位置関係を俯瞰し、時間的・空間的に	生物と周辺の環境に着目して生態系における生物の役割や物質の循環に着目して考察し、関係性を整理している姿。 人間の様々な自然界のつりあいに影響を与えることを見いだすために、収集した情報を比較、検討し考察している姿。 現象をエネルギーの変換という視点からとらえ、実験結果を分析し解釈している姿。 科学技術の有用性と活用の在り方に着目して、科学的な根拠に基づいて整理している姿。	理 「エネルギー」

# 音楽科 年間指導計画(1年)

	育成を					学習の基盤と	なる資質・能力						現実的な諸課題に対	応して求められる資質・能力	ל	
目 資質	<sub>旨す</sub> ·能力				<	く言語	能力>						く自然	分づくり>		
		感じたことを言	言葉にする力				豊かな表現を工夫する力			主体性・積板	 亟性			他者の考えや思いに対する	 3受容性	
音楽科と 資質		相手の思いる	を受け止めて間	<b></b>			伝え合うことで集団を発展	させる力		自分らしさを	発揮しようとす	る姿勢		自己肯定感		
		伝え合うこと	で自分の考え	を深化させる力						伝え合うこと	で自分の考え	を深化させる力				
学習指導要 領における 目標	知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう	•音楽表現を	創意工夫する	ることや、音楽のよさや美し	さを味わって聴く	ことができる。	ようにする。		必要な技能を身に付けるように 態度を養い、豊かな情操を培う							
	力、人間性等		· 月	5月	を対する心情で 6月		7月	8・9月	10月		1月	12月	1月	2月	3月	時数合計
1	年		校歌を覚えよ		曲想を感じ	- 音のつながり 方の特徴をと	日本の民謡やアジアの諸民		-トの役割を感じ取って、表現を	日本の歌のよ さや美しさを	曲想を感じ 取って、表現		思いを込めて合唱しよう	曲の構成や曲想の変化を生		標準授業時数:45h
配当	時間	2	2	4	2	2	4	2	6	2	2	3 2	4	4	4	45
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能 思考力、判断 力、表現力等 学びに向かう 力、人間性等	【器楽】につい 【音楽づくり・ 【鑑賞】につい ~技能~ 【歌唱】につい 【音楽づくり・ 【歌楽】につい 【歌楽】につい 【器楽づくり・ 【器賞】に関い 【鑑賞】に関い	事項) 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 歳~  【について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり  【について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり  【イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり  【イ)音楽材の特徴及び音の重なの方か反復、変化、対照などの構成上の特徴  【について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽材の特徴及び音の重なの方か反復、変化、対照などの構成上の特徴  【について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ク)我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性  【とついて身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能  【について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の書きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能  「次り・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること  事項)ア 音楽を形づくっている要素や要素同土の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること  「といて ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること													
内容(		オリエンテー ション	We'll Find The Way	和声と創意の試み第1集「四季」	喜びの歌		ソーラン節 アジアの諸民族の音楽	旋律をつくろ 「橋響祭クラ		赤とんぼ	聖者の行進かっこう	「越天楽」	君をのせて	Edelweiss	映画音楽を聴こう	
主題		を確認し、年 間の学習内	の構造や歌 詞の内容との 関わりについ	りについて理解するとともに曲 や演奏に対する評価とその 根拠について自分なりに考 え、音楽のよさや美しさを味	かりについて は 理解するとと る	方の特徴につ いて理解す る。		方の特徴につ について理 いて理解する 歌唱表現: とともに、それ らを生かした 創作表現を		の構造や歌 詞の内容との 関わりについ て理解すると ともに、それら を生かした歌	の構造との関わりについて 理解するとと もに、それらを 生かした器楽 表現を創意 工夫して演	の構造との関 とその背景と わりについて なる文化や	内容との関わりについて理解 するとともに、それらを生かし た歌唱表現を創意工夫して 歌う。	内容との関わりについて理解 するとともに、それらを生かし た歌唱表現を創意工夫して	文化や他の芸術との関わり について理解するとともに、曲	

### 音楽科 年間指導計画(2年)

	で育成を			学習の	)基盤となる資	資質・能力					現実的な諸課題に	対応して求められる資質・能	 計	
	指す 〔・能力			<b>&lt;1</b>	言語能	カ>					<自	分づくり>		
		感じたことを言葉にする力			<u> </u>	 豊かな表現を工夫する力			主体性•積極性	======================================		他者の考えや思いに対する	 5受容性	
	関連付けた 〔・能力	相手の思いを受け止めて「	聞〈力		f	伝え合うことで集団を発展	そさせる力		自分らしさを発持	軍しようとする姿勢		自己肯定感		
		伝え合うことで自分の考え	本語の対象性が開発性が関連といって関係を担任して、発展工人を利止に重要である。例如、のでは利用して、対象により、では、対象により、対象により、対象により、対象により、対象により、対象により、対象により、では、対象により、対象により、では、対象により、対象により、では、対象により、対象に											
学習指導要	知識及び技 能	・曲想と音楽の構造や背景	景などとの関わりおよび音楽	の多様性について	て理解するとと	ともに、創意工夫を生かし	た音楽表現を	でするために必要な歌唱、器楽、倉	作の技能を身に	付けるようにする。				
領における	思考力、判断力、表現力等	・曲にふさわしい音楽表現	を創意工夫することや、音楽	楽を評価しながら	らよさや美しさ	を味わって聴くことができる	らようにする。							
目標	学びに向かう 力、人間性等	・音楽活動の楽しさを体験	<b>検することを通して、音楽を</b> 愛	を好する心情を育	育むとともに、音	音楽に対する感性を豊か	にし、音楽に親	見しんでいく態度を養い、豊かな情	燥を培う。					
,	月	4月 年間の学習 曲想と曲の												時数合計
2	年	を把握しよう 構成を感じ 取って、歌唱 表現を工夫	りを理解して、その魅力を味	の構造との関 構 わりを理解し 取 て、器楽表 を	構成を感じ きなって、表現 規	楽の特徴を理解して、その	や反復、変 化を理解し て、創作表	現を工夫し、仲間とともに表情豊か	容との関わりを理 解して、歌唱表				りを理解して、歌唱表現を	標準授業時数:35h
配当	当時間	<u> </u>	3		1	3	1		2	4	3	4	3	35
資質・能力の 三つの柱	知識及び 技能 思考力、判断 力、表現力等	〜知識〜 【歌唱】について理解する。 【器楽】について理解する。 【音楽づくり・創作】につい 【鑑賞】について理解する。 〜技能〜 【歌唱】について身に付ける 【器楽】について身に付ける 【音楽づくり・創作】につい 【共通事項】 音楽を 【歌唱】について 調 【歌唱】について 調 【歌唱】について 調 【歌唱】について 調 【歌唱】について 調 【部楽】について 調	項)音楽を形プくている要素やよびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。  プンいて理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり ついて理解すること (ア)曲想と音楽の構造や画音表との関わり (イ)楽器の音色や響きを考法との関わり のいて理解すること (ア)曲想と音楽の構造や画音とでは、ア)の音楽を表し、ア)の事態 (イ)音楽が特徴とで音を変素との関わり (イ)音楽が特徴とで音楽をなどの特徴及び音のすなか方を対象 (イ)音楽が特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ク)我が国や郷土の伝統音楽及び語外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の参様性 ついて理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ク)我が国や郷土の伝統音楽及び語外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の参様性 ついて身に付けること (ア)曲想工夫を生かした表現で表演するために必要な発売、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌力技能 り・創作していて身に付けること 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること  項)音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること のいて 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい部で表現を創意工夫すること のの情について 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まさまりのある創作表現を創意工夫すること 関わる知識を得たり生かしたりしながら、まさまりのある創作表現を創意工夫すること 関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ク)音楽表現の共通性や固有性											
内容	【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性  学びに向かう カ、人間性等  主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明る〈豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。  オリエンテー 夢の世界を フーガ ト短調 リコーダーに リズムゲーム 郷土の祭りや芸能 炭律をつくろ 橋響祭クラス合唱曲 荒城の月 アンサンブル「美女と野獣」 歌舞伎「勧進帳」 歌劇「アイーダ」 Joyful,Joyful 生活や社会の中の音楽													
取って、歌唱 表現を工夫 に						る文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活 いて理解するとともに、生活 や社会における音楽の意味 や役割について考え、音楽	徴及び音の 重なり方や反 復、変化、対 照などの構成	の関わりについて理解するとともに、 それらを生かした曲にふさわしい歌 唱表現を創意工夫して歌う。	造や歌詞の内容 との関わりについ て理解するととも に、それらを生か	て理解するとともに、それらを生かし た器楽表現を創意工夫して演奏す	る文化や歴史との関わりにつ いて理解するとともに、生活 や社会における音楽の意味 や役割について考え、音楽	る文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽	内容との関わりについて理解 するとともに、それらを生かし た曲にふさわしい歌唱表現を	

# 音楽科 年間指導計画 (3年)

	 で育成を 指す				<u>-</u>	学習の基盤と	なる資質・能力							現実的な諸課題に対	対応して求められる資質・能	h	
1	169 [·能力					く言語	能力>							く自:	分づくり>		
		感じたことを	言葉にする力				豊かな表現を工夫する力				主体性・積				他者の考えや思いに対す	 る受容性	
	関連付けた 「・能力	相手の思い	を受け止めて間	<b></b>			伝え合うことで集団を発展	させる力			自分らしさを	発揮しようとす	する姿勢		自己肯定感		
		伝え合うこと	で自分の考え	を深化させる力							伝え合うこと	で自分の考え	を深化させる力				
光初松类亚	知識及び技能	・曲想と音楽	<b>必の構造や背</b>	骨などとの関わりおよび音楽	の多様性につい	て理解すると	ともに、創意工夫を生かした	き音楽表現を	するために必要	な歌唱、器楽、創作の技	能を身に付け	るようにする。					
学習指導要領における	思考力、判断力、表現力等	• HILL (VZX)	しい音楽表現	を創意工夫することや、音楽	楽を評価しなが	らよさや美しさ	を味わって聴くことができるよ	けうにする。									
目標	学びに向かう力、人間性等	. 辛冰活動/	の楽しさを体験	することを通して、音楽を愛	愛好する心情を	育むとともに、	音楽に対する感性を豊かに	し、音楽に親	しんでいく態度を	を養い、豊かな情操を培う	).						
	月	4	月	5月		月	7月		• 9月	10月		1月	12月	1月	2月	3月	時数合計
3	年	オリエンテー ション	日本の歌のよ さや美しさを 理解して、歌 唱表現を工 夫しよう	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	構造との関わ	成を感じ取っ て、歌唱表現		音階の特徴 及び音のつな がり方の特徴 を生かして、 創作表現を エ夫しよう	2	長情豊かに合唱しよう	や背景を理 解して、その		音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ・ て、その魅力を味わおう	・「ホビュフー音楽の特徴を埋削 して、その魅力を味わおう	保 仲間とともに表情豊かに合唱しよう	仲間とともに表情豊かに合唱しよう	標準授業時数:35h
自己宣	当時間	1	3	3	3	1	3	1		5	2	3	3	3	3	1	35
資質・能力の 三つの柱	思考力、判断	【器楽】につい 【音楽がり・ 【鑑賞】につい ~ 技能~ 【歌楽】につい 【音楽がり・ 【映唱】につい 【 ま楽〕につい 【 ま楽〕につい 【 ま楽〕につい 【 ま楽〕につい 【 ま楽〕につい 【 ま楽〕につい 【 ま楽)につい 【 ま楽)につい	について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 (ア)創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること ます まず では														
	学びに向かう 力、人間性等	王体的・協作	動的に表現及				ることを通して、音楽文化に				し、音楽に親に						
内容	(教材)	オリエンテー ション	花の街	組曲「展覧会の絵」	リコーダーに ついて ピアノソナタ 第8番	リズムゲーム	大地讃頌	旋律をつくろう	5 橘響祭クラス合	唱曲	ボレロ	Let It Be Amazing Grace	ブルタバ (モルダウ)	ルールを守って音楽を楽しもう ポピュラー音楽を聴こう	旅立ちの日に	卒業式の歌	
主題	の目標	を確認し、年	構造や歌詞 の内容との関	や演奏に対する評価とその 根拠について自分なりに考 え、音楽のよさや美しさを味	構造との関わ りについて理 解するととも	方の特徴につ いて理解す る。		徴及び音の 重なり方や反	について理解す を 曲にふさわしい。 すう。 さ	構造や歌詞の内容との関わり るとともに、それらを生かした 歌唱表現を創意工夫して歌	その背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役	構造や歌詞 の内容との関 わりについて 理解するとと もに、それらを 生かした曲に ふさわしい歌 唱表現を創 意工夫して	文化や歴史との関わりについ て理解するとともに、生活や 社会における音楽の意味や	文化や歴史、他の芸術との 関わりについて理解するととも	は、自然と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解でするとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現をは創意工夫して歌う。	内容との関わりについて理解 するとともに、それらを生かし	

# 美術科 年間指導計画(1年)

	育成を		### 2017 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日									
	指す ・能力		全国新能力   日から成立上午の									
		事実等を解釈し自分の考えを形成する力		豊かな表現を工夫する力			自分らしさを発揮しようとす	 する姿勢		 夢や目標をもち、生き方を	 追求する姿勢	
	関連付けた ・能力	伝え合うことで自分の考えを深化させる力		考えの妥当性や信頼性を	吟味する力		伝え合うことで自分の考え	を深化させる力				
		目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力					さまざまな情報を活用・選	択する力				
W 33 IK \ <del>X 7</del>	知識及び技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解	するとともに、表現方法を創意	質工夫し、創造的に表すことだ	ができるようにする。		ı					
学習指導要 領における目	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の	の働きなどについて考え、主題	夏を生み出し豊かに発想し構	想を練ったり、美術や美術	文化に対する見方や感じた	うを深めたりすることができる。	ようにする。				
標	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する	る心情を育み、豊かな情操を	培う。								
J	月		6月	7月	8・9月	1 0月	11月	1 2月	1月	2月	3月	時数合計
	年	会い P2-5 絵や彫刻との H12-13 鉛筆で描く/水彩で描く P60 色彩の基本・仕組み P10-11 P70-72 P70-72	る情景 無貝Cの出 P16-17 見方や感じ 遠近感を表 方を広げよう P62	美のタイムト 芸との出会い ラベル 人との暮らし P 28-29 を豊かに	P 44-45	自然の美しさ から生まれた P 54-55 発想・構想の 手立て	P 42-43 文字の基本 P 63	P 52-53 焼き物を作る P 67	かけ		P20-21	
四二	時間	1   1   6	6 1	1 1	4	1 1	4	6	1	5	6	45
	思考力、判断力、表現力等	[共通事項] ア 形や色彩、材料、光などの性質や 【絵画・彫刻】 ア 対象や事象を見つめ感じ取った 【デザイン・工芸】 ア 構成や装飾の目的や条件などを基に ウ 使う目的や条件などを基に、ウ 使う目的や条件などを基に、 【美術作品に関する鑑賞】 ア 造形的なよさや美し イ 目的や機能との調系 【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】 ア	た。それらが感情にもたらす効が 形や色彩の特徴や美しさ、想 どを基に、対象の特徴や用し 、伝える相手や内容などから 使用するものの気持ち、材料 さを感じ取り、作者の心情や 口のとれた美しさなどを感じ取り 身の回りにある自然物や人こ 身近な地域や日本および諸	果などを理解すること。 イ 県像したことなどを基に主題を いる場面などから主題を生み出し、わかりやさ 、主題を生み出し、わかりやさ はなどから主題を生み出し、使 や表現の意図と工夫などについ の、作者の心情や表現の意図 に物の形や色彩、材料などの は外国の文化遺産などのよされ	造形的な特徴などを基に、 生み出し、全体と部分との 出し、美的感覚を働かせて すさと美しさなどとの調和を考 いやすさや機能と美しさなど いて、考えるなどして、見方が 図と創造的な工夫などについ 造形的な美しさなどを感じ や美しさなどを感じ取り、美術	全体のイメージや作風など 関係などを考え、創造的な 調和のとれた美しさなどを考 きえ、表現の構想を練ること どの調和を考え、表現の構 や感じ方を広げること。 いて考えるなどして、見方や、 取り、生活を美しく豊かにす	で捉えることを理解すること。 構成を工夫し、心豊かに構だえ、表現の構想を練ること。 る。 想を練ること。 感じ方を広げること。 る美術の働きについて考える	想を練ること。 るなどして、見方や感じ方を <u>「</u>	広げること。			
内容(キーワ	ード・授業展開	・見かたを変えて 発見する       ・身近な小さなもの (シャーペン、筆記具、紙切 れ)を見つめてていねいに描 とで質感や 暗を表現 ・水彩で描 パレット・筆	現 ・撮影→ス ・感じたことを な ケッチ→理由 言葉で 明 (2つの遠 思いを読み 近法〈線・空 取る く	・原始表現の・用の美 迫力と生命 飾る 伝える		を学ぶ ・らせん ハニ カム 組子 マッピング 自然の造形 アイデアスケッ美 チ テーマ決め	・デザインの工夫と印象の違い 明朝・ローマン	・土の特性と作品の手触り	したデザイン 風神雷神図屛風 俵屋宗 達	植物や自然界の物をどの ように変化させたのか		
単元目標	•到達目標	編員して、その作り 家の作風や自然 見つめ、感じ取った形や自	気になる場所や ものを見つめ、感 じ取った形や色 数 彩の特徴、場所 のイメージから主 類を生み出し、 構図や表現方	様、材料や場所 に着目し、原始 等美術の造形的な よさや美しさ、 人々の思いや作 者の意図と工夫	に、象徴するものや形、色彩	の源としてつくら れたものや自 然の造形を生	相手にわかりやすく伝わるよ	し、用途や機能と美しさなど	のよさや美し さ、折ることで 生まれる立体 感や見え方	人工物などの形や色彩の特徴を捉	からイメージを広げて主題を	

# 美術科 年間指導計画(2年)

	で育成を		学習の基盤となる資質	質·能力						現実的な諸課題に対	<b> </b>	力	
	指す i・能力		く言語能力	カ>						く自然	分づくり>		
		事実等を解釈し自分の考えを形成する力	<u>豊か</u> な	表現を工夫する力				自分らしさを発揮しようとす	る姿勢		夢や目標をもち、生き方	 を追求する姿勢	
	関連付けた ・能力	伝え合うことで自分の考えを深化させる力	考えの	妥当性や信頼性を吟	味する力			伝え合うことで自分の考える	を深化させる力				
		目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力						さまざまな情報を活用・選択	沢する力				
74.22.15.75.±	知識及び技 能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解する	るとともに、表現方法を創意工夫し、	、創造的に表すことがで	できるように	する。							
学習指導要領における目標	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の	働きなどについて考え、主題を生みと	出し豊かに発想し構想	見を練ったり、	. 美術や美術文化に対する見れ	方や感じ方	を深めたりすることができる。	<b></b> ようにする。				
标	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する	心情を育み、豊かな情操を培う。										
	月	4月 5月 学びの実感と広	6月	7月	8 •	9月 10月	]	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計
2	年	# 1	上42-43 木で作る	手へ受け継ぐ上32- ご 33 上 ぐ伝統と文化 下53 北	ัเ≀ :24-29	上30 力ポップル	ジジチカピ ッポッパッ 36-37	上10-11   トサハーた/トニス ト-E6	なんでこれが美術なの? 上22-23 学びの言葉 岡本太郎 上5 岡本太郎・芸術はみんなの もの・上51	ひと目で伝えるための工夫 上38-39 色彩の特徴を深く知る 上64	水と筆を操る 上20-21 水墨画の表現 上55	暮らしやすさのデザイン 上44-45	標準授業時数:35h
配	時間	1 5	6	1	1	1	3	7	1	6	2	1	35
	知識及び技能	[共通事項] ア 形や色彩、材料、光などの性質や、 【造形遊びをする活動の技能】 制作活動を通して、 【技能】 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて	材料や用具を活用するとともに、過 自分の表現方法を追求して創造的	去の経験や技能を総合 なで表すこと。 ・材料	合的に生かけ、表	したり方法などを組み合わせた! 長現方法の特性などから制作の	りするなどし 川原序などを	って、活動を工夫して制作す 総合的に考えながら、見通	ってること。 近しをもって表すこと。				
	思考力、判断力、表現力等												
	学びに向かう 力、人間性等	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味れ	つい、美術を愛好する心情を培い、	心豊かな生活を創造し	していく態度	を養う。							
	ード授業展開の ))	・実物大の作品 から表現の本質 を分別の表 ・視点の変化と印象の違い ・美を発見するよ ろこび	南部舒 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	織り 虱という形と用途を生 が、たデザイン	江戸時代の 反画 反元→絵師 →彫り師→	・	<del>ど</del> の効果、 出 然の光 工の光	・動勢の美	・意外さ 新たな価値観 ・パブリックアート ・生き続けることと芸術表現	・サインデザイン ピクトデザイン 視覚伝達	・水墨画の世界観 濃淡 にじみ ぼかし かっれ	・使う人の身になって デザインコンセプト (制作 意図) とプレゼンテーション (伝達)	
単元目標	•到達目標	普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。	はいれば、「機能はを生か」 して作ることに関心を持ち、 材料のよさや美しさ、使う場面や機能などをもとに主題を 生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って デザイン』ます	日品や技の素晴らしさ 特別を持ち、形や色彩、 は持ち、形や色彩、 技法、作風や印象な え、人の手による技の いしさや作品の美しさ、 の意図と創造的な工 について考えるなどの や感じ方を深める。	持ち、構図や印象などを捉え、制書を表すの意図 創造的な工 、美術文化の は承と創造につ て考えるなどの	ジャポニズムの表現の特色や時 生力 代背景などに関心を持ち、作品 に関 の特徴や日本美術の作風がど のように生かされているかなどを 捉えね表現の特色や美しさ、作 者の意図と創造的な工夫、美 術を過した国際理解、美術文	別心を持ち、空 の美しさや使う 面などを基に 題を生み出色 形の形化、空を からない。 見を という ので、 見を という という という という という という という という という という	5、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、形や重心の効果、動きの感じ、躍動感などを捉え、材料の特性を生かして創造的に立体	し、1メーンを捉えるなどしな がら、作者の心情や表現意	ピクトグラムのデザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場所などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。	墨などで表すことに関心を持ち、表 たいもののイメージを基に主題を生出し、濃淡や線などの効果を考えて 表現の構想を練り、墨の特性を生 して創造的に絵で表す。	機能と美しさの調和、使う人	

# 美術科 年間指導計画 (3年)

3 12 4	で育成を		学習の基盤と	なる資質・能力					現実的な諸課題に対応して求められる資質・能	カ					
	指す 「・能力		く言語	能力>					<自分づくり>						
		事実等を解釈し自分の	 考えを形成する力	豊かな表現を工夫する力			自分らしさを発揮しようとす	 する姿勢	 夢や目標をもち、生き方を	 注追求する姿勢					
	関連付けた 〔・能力	伝え合うことで自分の考	えを深化させる力	考えの妥当性や信頼性を	吟味する力		伝え合うことで自分の考え	を深化させる力							
		目的や意図に応じて伝	えるべきことを理解する力				さまざまな情報を活用・選	択する力							
	知識及び技能	・対象や事象を捉える造	形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意	工夫し、創造的に表すことが	できるようにする。										
学習指導要領における目	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、	表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題	を生み出し豊かに発想し構想	想を練ったり、美術や美術な	文化に対する見方や感じ方を	を深めたりすることができるよ	うにする。							
標	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜	びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操をな	音う。											
	月	4月	5月 6月	7月	8・9月	1 0月	11月	1 2月	1月 2月	3月	時数合計				
3	_	学びの探求と 未来 下 P 2-5 学びの言葉 井浦新 下 5 この教科書で 学ぶみなさん	n I	実顔が生まれる鉄道デザイン 下46-47 受け継ぐ伝統と文化 下53 (仏像の種類/美術文化の継承下54)	私の色 みんなの色 下36- 37 布を染める 下56	日本の世界 今を生きる私 文化遺産 へ 下8-11 下52	さまざまなアートに触れよう 下50-51	魅力を伝えるパッケージ 下 38-39 色彩の特徴を深く知る 上 64	心がほっと なごむもの 下42-43	あなたへ 明日への巣立ち 下60-61	標準授業時数:35h				
配	当時間	1 2	7	1 2	4	1 7	1	3	5	1	35				
	知識及び技能 思考力、判断 力、表現力等	【造形遊びをする活動の 【技能】 材料や用具の 【共通事項】 ア 形や色 【絵画・彫刻】 ア 対象 【デザイン・工芸】 ア 様 イ ク ・ 【美術作品に関する鑑賞 【生活の中の美術や美術	54)												
	ード授業展開の ))	・サグラダファミリア 美の探求 ・本物を見極め る力 ・より自分らしい 表現を目指して		文化との交流 の姿 ・その地方の ・様式美 伝統的な 材料や技法	・身にまとうものの色彩効果 ・染色技法 絞り ステンシル スタンブ	・社会人として基礎知識 ・誇り ・中3の時間を描きとめる ・自分との対 話時間	・空間を共有する美術作品	・包装紙や包装容器を装飾する 商品や中身との関連性 ・色相による配色 トーンによ る配色 ほか	・遊び心と温かみ	・学びを次につなげていく					
単元目標	₹・到達目標	絵に込められが作者の訴えたことなどに関心持ち、造形的 美しきを感じ り、社会におい美術の力につて考えるなとして、見方や感方を深める。	を は	の工夫やその世 界観を感じ取り、 デザインが社会に 思わまがなわない。 ステナインが社会に また、集術文化の	することに関心を持ち、使う 場面飾る場面から主題を生	自分の心の中を 見つめ、自分らし さや個性から主 題を生み出し、 構図や表情など の効果を考え、 絵の具や用具な どの特性を生かし 意図に応じて創 意工夫して絵や 立体に表現す る。		伝える目的や条件、中身の イメージなどから主題を生み 出し、意図に応じて表現方 法を創意工夫してデザインす る。	使う人への気持ちや場面、楽しさなどから主題を生み出し、 材料や用具の特性を生かし見通しを持って創造的に表す。						

#### 保健体育科 年間指導計画(1年)

	で育成を			学習の基盤と	なる資質・能力					現実的な諸課題に対	対応して求められる資質・食	能力 能力		
	指す ・能力			く言語	能力>					〈自:	分づくり>			
		 伝え合うことで自分の考え	 えを深化させる力		伝える内容を明確にする			自己肯定感			メタ認知する力			
	関連付けた ・能力	身近な語彙の豊かさ			相手の思いを受け止めて聞く力			他者の考えや思いに対す	する受容性		主体性·積極性			
A.A.	ניטח .	他者に的確にわかりやすぐ	〈伝える力					伝え合うことで自分の考え	えを深化させる力					
	知識及び技能	<ul><li>各種の運動の特性に応</li></ul>	じた技能等及び個人生活に	おける健康・安全についてエ	里解するとともに、基本的な技能を身	身につけるよう	にする。							
学習指導要領における目	思考力、判断	・運動や健康についての目	自他の課題を発見し、合理的	りな解決に向けて思考し判に	断するとともに、他者に伝える力を養	う。								
標	力、表現力等学びに向かう	<ul><li>・生涯にわたって運動に親</li></ul>	見しむとともに健康の保持増進	<b>生と体力の向上を目指し、</b> 明	引るく豊かな生活を営む態度を養う。									
	力、人間性等月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	1 2月	1月	2月	3月		時数合計
1	年	体つくり運動	陸上競技(奇数級) 器械運動(偶数級) 体育理論 【運動やスポーツの多様性】		水泳 健【心身の機能の発達と心の健康】		器械運動 (奇数級) 陸上競技 (偶数級) 体つくり運動	バレーボー	(奇数級) -ル(偶数級) 能の発達と心の健康】	バレーボール 柔道 ({ 保健(健康な生)		体つくり運動	標準	售授業時数:105h
配当	<b>台時間</b>	7	実技15、体育理論3	+#\`\#\	実技12、保健5 なり運動の意義と行い方、体の動き	た言いて亡け	実技19		15、保健 5	保健15	、保健6	3		
資質・能力の 三つの柱		「陸上競技」〜次の運動 ア 短 イ 走 「器械運動」〜次の運動 ア く 共 ウ 平 エ が 「球技」〜次の運動につい 「バレーボール」 「水泳」〜次の運動につい ア クロールでは 「柔道」〜次の運動につい 柔道では、やつ 「体育理論」〜運動やス 「体つくり運動」〜との 「体力くり運動につい ながよっての 「体力とりでは 「体力とりでは 「体力とりでは 「体力とりでは 「体力とりでするとの自己 「水泳」〜次のなどの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとの自己 「本達」〜でするとのものものもの。	について、記録の向上や競領 距離・リレーでは、中間走へは、 り幅跳びでは、スピードに乗っ について、技ができる楽しさや ット運動では、回転系や技巧 棒運動では、支持系や懸垂 、均台では、体操系やバランス が箱運動では、切り返し系や いて、脱敗を競う楽しさや喜び に、ネット型では、ボールや用り いて、記録の向上や競争の楽 に、手と足の動き、呼吸のバラン 、、手と足の動き、呼吸のバラン 、、手と足の動き、呼吸のバラン 、、すととなができる楽しさや喜び ボーツの意義や効果と学び方 とこの課題を発見し、合理的な解 この課題を発見し、合理的な解 この課題を発見し、合理的な解 この課題を発見し、合理的な にいまいて、会理的な解 この課題を発見し、合理的な にいまいて、会理の にいまいて、会理の ・をいまいて、会理の ・をいまいて、会理の ・をいまいて、会理の ・をいまいて、会理の ・をいまいな、 ・をいまいな、 ・をいまいな ・をいまいな ・をいまいな ・をいまいな ・をいまいな ・をいまいな ・をいまいな ・をいまいな ・をい	中の楽しさや喜びを味わい、 のつなぎを滑らかにして速く声 がた助走から力強く踏み切っ のであるなななを滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいる基本的な技を滑らかに でいるではでいるななを でいるではでいる。 でいるとり速く泳ぐことができる。 でいるとり速く泳ぐことができる。 でいるでとり速くがってといては でいったについて理 は、につけて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み は解決に向けて運動の取り組み	、巧みな動き、力強い動き、動きを対 技術の名称や行い方、体力の高めだ 是ることやバトンの受け渡しで次走者 て跳ぶこと、走り高跳びでは、リズミカ 行い方、運動観察の方法、体力の で変定して行うこと、条件を変えた技 で変定して行うこと、条件を変えた技 で変定して行うこと、条件を変えた技 で変定して行うこと、条件を変えた技 でかして安定して行うこと、条件を変えた技 らかに安定して行うこと、条件を変えた技 らかに安定して行うこと、条件を変えた技 らかに安定して行うこと、条件を変えた技 の動きによって空いた場所をめぐる の特性や成り立ち、技術の名称や行 る。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、 けたり抑えたりするなどの簡易な攻防 と解することができる。 し方を工夫するとともに、自己や件間 別み方を工夫するとともに、自己や件間 別み方を工夫するとともに、自己や件間 別か方を工夫するとともに、自己の考 目み方を工夫するとともに、自己の考 目み方を工夫するとともに、自己の考 目の課題を発見し、よりよい解決 長現する。健康な生活と疾病の予防	方、運動観察のスピードをいい高いでは、できないい高いでは、いい高いでは、いい高いでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	その方法などを理解するとともに、名一分高めること、長距離走では、目の強く踏み切り滑らかな空中動く理解するとともに、自己に適した打っこと及びそれらを構成し演技すっこと及びそれらを構成し演技を打っことができる。して高まる体力などを理解するととができる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	各種目特有の技能を身に作自己に適したペースを維持し作で跳ぶことができる。 支で演技することができる。 ることができる。 ることができる。 することができる。 さに、基本的な技能や仲間 理解するとともに、泳法を身に 背泳ぎでは、手と足の動き とどを理解するとともに、基本	けけることができる。 いて走ること、ハードル走では、 間と連携した動きでゲームを展 に付けることができる。 、呼吸のバランスをとり泳ぐこと 動作や基本となる技を用いて	開することができる。 ができる。 エ バタフライでは	:、手と足の動き、呼吸の/		横浜版での呼び方	知識·技能 思考·判断·表現
		「球技」~球技に積極的「水泳」~水泳に積極的「柔道」~武道に積極的「体育理論」~運動やス	に取り組むとともに、フェアなフ に取り組むとともに、勝敗など に取り組むとともに、相手を尊 ボーツの意義や効果と学び方	ルイを守ろうとする、作戦な を認め、ルールやマナーを守 尊重し、伝統的な行動の仕だ で安全な行い方についての	ようとする、一人ひとりの違いに応じ、 どについての話合いに参加しようとす ろうとする、分担した役割を果たそう 方を守ろうとする、分担した役割を果 学習に積極的に取り組もうとする。 曽進や回復に主体的に取り組もうと	る、一人ひと! とする、一人で !たそうとする、	- 2の違いに応じたプレイなどを認め。 ひとりの違いに応じた課題や挑戦。	ようとする、仲間の学習を援 を認めようとするなどや、水汤	動しようとするなどや、健康・3 永の事故防止に関する心得を	遵守するなど健康・安全に	気を配る。			主体的に学習に取り組む態度
「貝方・:	考え方」を	「体育の見方・考え方」とは・・・ 運動やスポーツを、その価値 や特性に着目して、楽しさ 喜びとともに体力の向上に 果たす役割の視点から捉 え、自己の適性等に応じた 「する、みる、支える、知る」 の多様な関わり方と関連付 けること	康を支える環境づくりと関連 付けること	橘中学校の保健体育科 スローガン		,	『いつでも 〜「する みる		誰とでも』道 知る」の多様	な関わりた		しよう~		
	いる姿の例	<ul> <li>以課題解決を工夫している姿。</li> <li>健康や体力の状況に応じて体、着し、課題解決のための適切なる姿。</li> <li>つねらいに応じた運動の組み合わ向上に向けた運動権関を工夫して</li> <li>運動観察の方法に着目し、互いを踏まえ、自らの取り組みを改善な助言をしたりしている姿。</li> </ul>	姿。 連付けている姿。 関わり合いに着目 分の課題に着 つ 技の課題に着 の 安全な運動の 力を高める必要性に いる姿。 運動と関連付けてい 今条件を変えた けながら取り組んで はに着目し、体力 定動射観察の力 取組を改善したり。 いの多様な関わり合 一人ひどりの したり、仲間に適切 場の設定の工夫等	か行い方に着目し、技の段階的な習得 技、発展的な技の課題に着目し、自 でいる姿。 方法に着目し、互いの多様な関わり合 、仲間に適切な助言をしたりしている達 違いに応じた課題解決への方法に着目	でいる姿。 男方法と関連付けて 基本的な動きや効率の もに、各種目特有の技能や 己の能力と関連付 目し、自己に適した課題とは 運動観察の方法に着した。 企踏まえ、自己の をよう。自己の状況にあった課 合い教え合ったりしながら助	型的な動きと関連化の良い動きを発展さい高まる体力の違い関連付けている姿を回し、互いの多様を工夫している姿を 関に、互いの多様を工夫している姿。	けけている。 ○ ポール操作やポールを持たないなどに着目し、自己に適した課題といなどに着() 合理的な運動の仕方の理解付け、活用したり、応用したりしている。 ○ チームとしての課題や問題を共めに、ゲームの型やチームに適した。 題と関連(付けている姿。) ② 運動観察では、ゲームの課題	に発見い、合理	イントを確認しながら繰り返し学習に取り 組み方に着目し、仲間に言葉で話したり なまうとしている姿。 着目し、合理的な動きと比較し、成果や 云えている姿。 争や記録測定の場面に着目し、その結身	にている姿。 おうとしている姿。 溜カード等を活 の 課題解決に応 断い、さらに上達: 相んでいる姿。	はけた学習過程に着目し、自己の学 するための方法を考えている姿。 はた学習に着目し、互いに助け合っ 深めようとしている姿。 な考え方に着目し、礼を重んび、自 とするなどの考え方を大切にし、安全 としている姿。 「する、みる、支える、知る」などの多	協力し、よりよく課題 (協力し、よりよく課題 (連手) 連手) では、連手) では、たり教え合ったりし (保護の事者とともにとに気を付けて、練 (原建) した、必要な状況 (単原化生活を送 要性を理解して課題 (記述 (を表して) を表して、必要なな状況 (世界化生活を送 要性を理解して課題 (記述	を解決しようの学び方や安連付けている 国を理解し、『国を考えている 関を考えている 関を考えている 関を対し、『関連付けでいる」と関連付けで いることや、疾 関解決に取り のでもち、現	全な行い方に着目し、運動の実 姿。 自己の生活と照らし合わせながら財 姿。 心・肺蘇生法などの技能習得を ている姿。 肉を予防することに着目し、その必

# 保健体育科 年間指導計画(2年)

	育成を		### 19 1												
	指す ・能力	### (1970年)													
		伝え合うことで	学問の担心が必須であり												
	関連付けた ・能力	身近な語彙の	D豊かさ		相手の思いを受け止めて聞く力		他者の考えや思いに対する受容性	主体性·積極性							
只只	11075	他者に的確は	こわかりやすく伝える力				伝え合うことで自分の考えを深化させる力								
	知識及び技能	<ul><li>各種の運動</li></ul>	の特性に応じた技能等及び個人生活にお	らける健康・安全について理解	解するとともに、基本的な技能を身につけ	けるようにする。	<u>I</u>								
	思考力、判断	・運動や健康	についての自他の課題を発見し、合理的な	な解決に向けて思考し判断	するとともに、他者に伝える力を養う。										
伝	力、表現力等学びに向かう	・生涯にわたっ	って運動に親しむとともに健康の保持増進と	と体力の向上を目指し、明る	く豊かな生活を営む態度を養う。										
J	力、人間性等目	4	月   5月	6月	7月 8	・9月 10月	11月 12月	1月 2月	3月	時数合計					
2	年	体つくり運動	バドミントン (偶数級) 体育理論	安全な行い方]		ソフトボール(偶数級)	柔道(偶数級)	バスケットボール(偶数級)	体つくり運動	標準授業時数:105h					
配当	時間	7	実技15、体育理論3		実技12、保健5	実技19	実技15、保健5	保健15、保健6	3						
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	[ソ [バ [バ [バ [八次 [不 [不 ] [本 ] [保健] [保健] [「な [「な ] [「る ] [「な ] [「る ] [「る ] [「る ] [「る ] [「る ] [「る ] [「る ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	ア 体ほくしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うことができる。 イ 体の動きを高める運動には、おらいに応じて、体の柔らかき、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせることができる。  1 一次の運動について、勝敗を検急・強力に、おらいに応じて、体の柔らかき、乃強な動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。  (ソフトボール): ベースボール型では、基本的ながりト操作と走壁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。  (ソアトボール): ブール型では、ボール中界住の関係性心定位の重に戻るなどの動きによってごかに関係を必らなり防をすることができる。  (リスケルボール): ブール型では、ボール単件と空間に走り込むなどの動きによってごかに関係を必らなり防をすることができる。  (リスケルボール): ブール型では、ボール単件と空間に走り込むなどの動きによってブール前での攻防をすることができる。  1 一次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや直径できる。  1 一次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや直径できる。  1 一次の運動について、技ができる楽しさや直径を味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。  2 一次の運動について、技ができる楽しさや直びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。  2 一次の運動について理解を深めるとともに、協力・野地のサースをとの情易な攻防をすることができる。  2 一次の運動について理解を深めるとともに、応急手当をすることができる。健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができる。  2 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や中間の考えたこを他者に伝える。  1 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や本えたこを他者に伝える。  2 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  3 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けで運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  3 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けで運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  3 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けで運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  3 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けで運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  3 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けで運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  4 一次防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けで運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。  4 「単独立と称し、に考し、対しています。 「単独立と称し、に考し、表し、と述し、と述し、と述し、と述し、と述し、と述し、と述し、と述し、と述し、と述												
		「球技」〜球対 「水泳」〜水流 「柔道」〜武流 「体育理論」	支に積極的に取り組むとともに、フェアなプレ 永に積極的に取り組むとともに、 勝敗などを 道に積極的に取り組むとともに、 相手を尊真 〜運動やスポーツの意義や効果と学び方で	ノイを守ろうとする、作戦など 認め、ルールやマナーを守ろ 重し、伝統的な行動の仕方 や安全な行い方についての学	こついての話合いに参加しようとする、一, うとする、分担した役割を果たそうとする、 を守ろうとする、分担した役割を果たそう。 習に積極的に取り組もうとする。	人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めよう。 、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認 とする、一人ひとりの違いに応じた課題や挑	とする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全 なようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遺	守するなど健康・安全に気を配る。		主体的に学習に取り組む態度					
		は・・・ 運動やスポーツや特性に着目の喜びとともに体たす役割の視り自己の適性等る、みる、支え	考え方」と 「保健の見方・考え方」とは・・・ 「優人及び社会生活におけるして、楽しさや 力の向上に果 点から捉え、に応じた「する、知る」の多 「様々」を表する。 知る」の多												
	考え方」を いる姿の例	○ 手軽な運動を) ○ 手軽な運動を) ○ 健康や体力の。 と関連付けている。 ○ ねらいに応じた。 姿。 ○ 運動観察の方 り、仲間に適切なは ○ 健康の保持増	通して、仲間との関わり合いに着目し、課題解決を工夫し 状況に応じて体力を高める必要性に着目し、課題解決の &。 運動の組み合わせに着目し、体力向上に向けた運動種に	以付けている姿。 たいる姿。 かための適切な運動 き付けている姿。 ○ 合理的な運動 会理的な運動 会理のな運動 の チームとしての の 手の上としての で 手動観察では などに着目し、課	ボールを持たないときの動き及び攻防などに着目し、自 かの仕方の理解を自分の課題と関連付け、活用したり、 課題や問題を共有し、その解決のために、ゲームの型や 題と関連 付けている姿。 、ゲームの課題に応じて、ボール操作とボールを持たな 題解決に向けて取り組み方を工夫している姿。 チームの課題解決に取り組もうとする意欲に着目し、 よ	○ 課題発見のプロセスに着目し、見な解決に向けた学習計画を立てま。 ・ 応用したりしている ・ 応用したりしている ・ 応用したりしている ・ 学習の取り組み方に着目し、仲 ・ サームに適した動 ・ としている姿。 ・ 学び合いに着目し、合理的な動 ・ いる姿。 ・ 仲間との競争や記録測定の場間 にい動きや頑張りを讃 見付け、新たな課題追求につなけよ	、受診した内容から、自己の課題を適切に発見し、合理的  ○ 承道の特性  ○ 課題解決に  ○ 課題解決に  ○ 課題解決に  ○ 課題解決に  ○ 課題解決に  ○ 課題解決に  ○ 認題解決に  ○ 認題解決に  ○ 認道の伝統  の 計画と比較し、成果や改善ポイント等を考え、仲間に伝えて  「本述の考え方。  ○ 承道を通して  ・ 承道を通して  ・ 本述を  ・ 本述を  ・ 大きとしている  ・ 不必結果を基に振り返り、課題の実現状況を  ・ ましみ方を見付し  ・ たきとしている  ・ たきとしている  ・ でおま果を基に振り返り、  ・ は、  ・ でおまます  ・ この結果を  ・ この結果を  ・ この活き  ・ このよう  ・ こ	のけた学習過程に着目し、自己の学習状況を適切に判断し、さらに上達す はている姿。 別がた学習に着目し、互いに助け合ったり教え合ったりして、自分の考えを深 いな考え方に着目し、礼を重んじ、自分を律するとともに相手を尊重しようと を大切にし、安全に気を付けて、練習を積み重ねようとしている姿。 、「する、みる、支える、知る」などの多様な関わり方に着目し、自分に合った。	○ 課題解決の方法に着目し、互いの 題を解決しようとする姿。 ○ 連動やスポーツの学び方や安全な 連付けている姿。 「保健」 ○ 傷害の発生要因を理解し、自己の 題を考えている姿。 ○ 応急手当の必要性に着目し、心別 と関連付けている姿。 ○ 健康な生活を送ることや、疾病を引 題解決に取り組んでいる姿。	行い方に着目し、運動の実践や保健分野と関の生活と照らし合わせながら防止方法について記					

保健体育科 年間指導計画(3年)

	で育成を 目指す			学習の基盤となる資質・能力					現実的な諸課題に対応して求められる資質	質·能力			
	ョ 1119 質・能力	/ ニムミストを白ハの来ニナ/ボルナルスト		<言語能力>					<自分づくり>				
	関連付けた	伝え合うことで自分の考えを深化させる力 身近な語彙の豊かさ		伝える内容を明確にする 相手の思いを受け止めて聞く	力		自己肯定感 他者の考えや思いに対する受容性	性	メタ認知する力 主体性・積極性				
資質	質・能力	他者に的確にわかりやすく伝える力					伝え合うことで自分の考えを深化さ						
学羽也道事領におけ	知識及び技能 思考力、判断力、表現	・各種の運動の特性に応じた技能等及び個											
目標	カ等 学びに向かう力、人間	・運動や健康についての自他の課題を発見し			う。								
	性等	・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の	保持増進と体力の向上を目指	旨し、明る〈豊かな生活を営む態度を養う。 「7月」	8.9目	1.08	118	128	18	2月	3 目	1 8	<b>睦粉会計</b>
	月	) in the second	択I	選択Ⅱ	選択Ⅲ	10//	選択IV	1277	選択 V		3/1	100 VA 1052	
		バトミントン	ベースボール型) v(ネット型)	陸上競技 (短距離走・ハードル走から1種目)	サッカー (ゴール型) バドミントン (ネット型)	) /	ハンドボール(ゴール型) 「スケットボール(ゴール型)	,	サッカー(ゴール型) バスケットボール(ゴール型)			標準授	業時数:105h
2	左		ル(ネット型) 質域を選択	(走幅跳・走高跳から1種目) 器械運動(マット・跳び箱から1種目)	バレーボール(ネット型 から1領域を選択	))	ソフトテニス(ネット型) から 1 領域を選択		ソフトテニス(ネット型) から1 領域を選択		体つくり運動		
5	4			水泳	体つくり運動	※選択Ⅰと選択Ⅲで	マット型を選択した生徒は必ずゴール型を選択する	5			TT > ()Allan		
	•	体育理論に又化さい	<b>ノてのスポーツの意義</b> 」	(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライから1種目以上) もしくはダンス		保	こと 建「健康な生活と疾病の予防」	381	健「健康な生活と疾病の予防」				
西己	当時間	5	体育理論3	から1領域を選択 実技12、保健 5	実技15		実技13、保健5		保健13、保健6		15	1	
資質・能力 の三つの柱		イ:実生活に生かす運動の計画では、ねらい「球技」へ次の運動について、勝敗を競う楽しさや恵び。 「ソフトボール」: ベースボール型では、安定ししていた。シース・ボール」: ゴール型では、安定したボールン・ボール]: ガール型では、安定したボールン・ボール]: ガール型では、安定したボールン・ボールーでは、大きにないで、大きの一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般のでは、大きにないでは、大きにないでは、大きにないでは、大きにないでは、大きにないないで、大きができる楽しさや書(おり、第2〜次の運動について、東いをもいが、大きには、大きにないで、「大きないの運動について、記録の向上や競争の楽し、イン・大きなどの自己や中間の課題を発見して、大きにないで、大きなどの自己や中間の課題を発見して、おり、大きにないでは、大きにないが、大きなどの自己や中間の課題を発見して、大きにないで、大きなどの自己や中間の課題を発見して、大きにないではないでは、大きにないでは、大きにないでは、大きにないないではないではないではないでは、大きにないではないでは、大きにないでは、大きにないでは、大きにないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	、心と体は互いに影響し変化することへいに応じて、健康の保持増進や調和のと味わい、技術の名称や行い方、体力 たパット操作と走塁での攻撃、ボール損 ボール操作や安定した用具の操作と連 ボール操作や安定した用具の操作と連 ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ル操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに ボール操作と空間を作りだすなどの動きに がよしさや喜びを味わい、技術の名称・ からカーダいの選が、は ののなぎを滑らかにして速に からから、至定して行う。 の回転系の基本的な技を滑らかに安定して いているさわしいイメージを捉え、個やり方 からかきでは、リズムの特徴を捉え、個をり方 からなで自由しいイメージを捉え、個を的方 からでする、安定したペースで長 のバランスを保ち、安定したペースで長 のバランスを保ち、安定したペースで長 の「フェースで見かな解決に向けて運動のし 、この一理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決に向けて運動の い、たっ理的な解決といった。 この一定のは解決を発見し、よりよし、 にのよりない。 にのまりない。 にのよりない。 にのまりな	や心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取りの高め方、運動観察の方法などを理解するともに、検験化と連携した守備などによって攻防をすることができる。	とができる。 )組むことができる。 )組むことができる。 作戦に応した技能で仲間と連携しゲームを 5.6 ができる。 5.6 ができる。 3.6 きさる。 ができる。  ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	は展開することができる。 付けることができる。 方法、体力の高め方などを理解するとと とめたりして踊ることができる。	もに、イメージを深めた表現や踊りを通し	犯た交流や発表をすることができる。				横浜版での呼び方	知識・技能
	学びに向か う力、人間 性等	「保健」〜健康と環境、健康な生活と疾病の予防 「体つくり運動」体つくり運動に自主的に取り組むと 「球技」〜球技に自主的に取り組むとともに、フェア 「陸上競技」〜陸上競技に自主的に取り組むとと 「緊峻運動」〜突場地運動につきないに取り組むとと	ちについて、課題を発見し、その解え とともに、互いに助け合い教え合お とながしまうとする、作りもに勝敗などを冷静に受け止め、 もに、よい演技を讃えようとする。 いに助け合い教え合おうとする。作 などを冷静に受け止め、ルールや いての学習に自主的に取り組もうと	決に向けて思考し判断するとともに、それらに関うとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを大戦などについての話合いに貢献しようとする、一人ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任可いに助け合い教え合おうとする、一人ひとりのよいと助け合い教えなどの話合いに貢献しようとする、一マナーを大切にしようとする、自己の責任を果たする。	する情報から課題を発見し、その解決 は切にしようとする、話合いに貢献しよう 人ひとりの違いに応じたプレイなどを大じ 壬を果たそうとする、一人ひとりの違いに 違いに応じた課題や挑戦を大切にしよ 人ひとりの違いに応じた表現や役割をフ	らとすることなどや、健康・安全を確修 別にしようとする、互いに助け合い教 に応じた課題や挑戦を大切にしよう うとすることなどや、健康・安全を確 大切にしようとするなどや、健康・安	保する。 にえ合おうとするなどや、健康・安全を とするなどや、健康・安全を確保する 保する。 全を確保する。	`る。	保する。				主体的に学習に取り組を 態度
	'	「見方・考え方」とは・・・										1	1
		「体育の見方・考え方」とは・・・ 運動やスポーツを、その価値や特性に着 目して、楽しさや喜びとともに体力の向上 に果たす役割の視点から捉え、自己の適 性等に応じた「する、みる、支える、知る」 の多様な関わり方と関連付けること	における課題や情報 間する原則や概念に着 のリスクの軽減や生活	D保健体育科 ーガン				も 誰とでも』運動に発る 知る」の多様な関れ	現しめる人になろう つり方を大切にしよう〜				
	考え方 」を いる姿の例	「体つくり運動」  「体つくり運動」  手軽な運動を通して、心と体の関係に着目し、既習の知識  手軽な運動を通して、仲間との関わり合いに着目し、課題所  健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性に着目し、 ている姿。  ねらいに応じ、運動の組み合わせに着目し、体力向上に向い  運動観察の方法に着目し、見いの多様な関わり合いを踏まい  切む助言をしたりしている姿。  健康の保持増進に着目し、実生活に生かす運動の計画と降  心と体の関係に着目し、保健分野の内容と関連付けている。  「学ンス」  「今ンスの特性に着目し、運動の楽しさや悪びを味わおうとしてい  表現や交流、仲間との関わり方に着目し、自己の課題解決へ  運動観察の方法に着目し、互いの関わりを通して、自己の課題解決へ  一人ひとりの違いに応じた学習課題への取り組みに着目し、作を味わおうとしている姿。  今ンスを通して、「する、みる、支える、知る」など多様な関わりだ付けようとしている姿。	深を工夫している姿。 課題解決のための適切な運動と関連付け	○一人ひとりの違いに応じた課題解決への方法に着目し、 いる姿。 ○体力の高め方に着目し、技の習得と体力の高まりを関連 「保健」 ○様々な環境条件が、健康に影響していることを、自己の ○環境による健康への影響に関心をもち、現在だけでなく 姿。	多姿。	姿。 ○基本的な動きや効率のよい動きを発展 もに、各種目特有の技能や高まる体力の ○運動観察の方法に着目し、互いの多様 ○自己の状況に合った課題に挑戦したり 「体育理論」 ○現在及び将来における自己の適性等に る姿。 ○課題解決の方法に着目し、互いの考え 姿。 ○運動やスポーツの学び方や安全な行い	限の向上や、よりよくできるための合理的な動き はさせるとと 違いなだに着目し、自己に適した課題と関連 な関わり合いを踏まえ、取り組み方を工夫し 互いに助け合い教え合ったりしながら取り組んで 着目し、運動やスポーツとの多様な関わり方。 を共有しながら、仲間と協力し、よりよく課題を 方に着目し、運動の実践や保健分野と関連 みる、支える、知る」など多様な楽しみ方につ	学習計画を立てよう (学習)という答を 製力を対する。 (学習の取り組みが、 (学習の取りません。) (学習の取りません。 (学習の取りません。) (学のの取りません。) (学の	確実に理解するために、実技書や学習カード等を活用し、動きの 組んでいる姿。 方に着目し、仲間に言葉で話したり書いたりして、自己の考えを: し、合理的な動きと比較し、成果や改善ポイント等を考え、仲間 紀録測定の場面に着目し、その結果を基に振り返り、課題の実	のボイントを確認しながら 深めようとしている姿。 肌に伝えている姿。 現状況を見付け、新た て考え、	○ボール操作やボールを持たないときの動	かき及び攻防などに着 か課題と関連付け、活 その解決のために、ケー 姿。 、ボール操作とボール なり組み方を工夫してい	目し、自己に適した課 所用したり、応用したりし 一ムの型やチームに適し を持たないときの動きや いる姿。
		○学習の振り返りに着目し、自己やグルーブの課題を的確に捉。	え、次時のめあてにつなげようとしている姿。				はボーツ大会が果たす文化的意義や役割に着 る姿	着目し、学んだことを					

# 技術·家庭科 年間指導計画 (1年)

学校で育	<b>育成を目指す</b>		学習の基盤となる	る資質・能力					現実的な諸課題に対	応して求められる資質・能力	J	
	質•能力		く言語能	も					〈自:	分づくり>		
		豊かな表現を工夫する力	事	事実等を解釈し	し自分の考えを形成する力		伝え合うことで自分の考えを	深化させる力		意思決定する力		
	4と関連付けた	相手の思いを受け止めて聞く力	尼	蒸じたことを言葉	葉にする力		メタ認知する力			自分らしさを発揮しようとす	る姿勢	
負貨	(単元)	伝え合うことで自分の考えを深化させる	b =	こいの考えの違	いへの気付き		  主体性・積極性			基本的な生活習慣をつくる	3態度	
		考えの妥当性や信頼性を吟味する力	<u> </u>	也者に的確に分	分かりやすく伝える力		よりよい社会を創る態度			主体的に社会参画する姿		
	科と関連付けた	言語で正確に伝える力			応じて伝えるべきことを整理する力		共生社会を形成しようとする	<b>高識</b>		地域に貢献する姿勢		
資質	質·能力	事実等を正確に理解する力	_		o ciare recent y ory		様々な情報を活用・選択す			課題に対応する力		
			――――――――――――――――――――――――――――――――――――	情報の技術に	ついての基礎的な理解を図るとともに、そ	わらに係る技能を身に依			た深める。	שאקע ליטוונייים		
	知識及び技能		を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境が					200000000000000000000000000000000000000				
学習指導要		( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	る問題を見いだして課題を設定し、解決策					 <b>捧</b> う。				
領における目	力、表現力等		の中から問題を見いだして課題を設定し、解									
標	学びに向かう	(37) 3730 3721 337,637 3271	な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技			LE NEW DOCK	54 (7) 30 E/A E/A E/A E	C/H//() U/J CR/				
	力、人間性等		の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し			ようとする宝践的か能度	を養う					
	月	(1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	月 6月	7月		10月	11月	1 2月	1月	2月	3月	時数合計
1_L_/ K	- /\ m=	,	(生却の社体の原理、注册L 社製 L加工の原	班 店則人					<b>社会の登屋とせ料と加工の</b>	コフナウ(サのキマコンニン Mの	プロガニン ガルトフ888五名かか	
技術	<b>5分野</b>	技術分野のガイダンス	情報の技術の原理・法則と 材料と加工の原 仕組み【D(1)アイ】 仕組み【A(1		材	料と加工の技術による問題	<b>風解決【A(2)アイ】</b>		社会の発展と材料と加工の 技術【A(3)アイ】		プログラミングによる問題解決2)アイ】	35
而之:	当時間	5	4 4			14			2		6	
田山	그녀내	5	「情報の表現や通信などについての理解 ○主な材料や加工に			14			○生活や社会に果たす役割や影		報を利用するための基本的な仕組み	
	知識及び技能		○情報のディジタル化や情報セキュリティな ○材料の製造方法や どに関わる基礎的な技術の仕組みの理解 どの基礎的な技術の	や成形方法な 〇	製作に必要な図を描き、安全・適切な製作や検査・点	検等ができる技能			響に基づいた材料と加工の技術の 概念の理解	1		知識及び技能
	思考力、判断		○情報の技術に込められた工夫を ○材料と加工の技術 読み取る力 工夫を読み取る力		材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて課題を設	定し解決できる力			○よりよい生活や持続可能な社会 の構築に向けて材料と加工の技術	○情報の技術の見方・考え方を働	かせて課題を設定し解決できる力	思考力、判断資質・能力の
三つの柱	力、表現力等		○情報の技術の見方・考え方の気 ○材料と加工の技術 付き 方の気付き	いの見方・考え					を評価・応用などする力			力、表現力等三つの柱
	学びに向かう 力、人間性等		○進んで情報の技術と関わって理解し技能を身に付けようとする態度 する態度	多に付け トラと  〇	自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決策を構だ 自らの問題解決の過程がよりよくなるよう改善・修正し。				○よりよい生活や持続可能な社会 の構築に向けて材料と加工の技術 を工夫・創造する力	度	たよって解決策を構想しようとする態 なるよう改善・修正しようとする態度	学びに向かう カ、人間性等
学	習内容	○技術分野の学習の見通し ○学習内容の紹介	○身の回りの材料とが ○木材・金属・プラス ○安全に利用するための情報モラ Ⅲ マナスな製品を作る	チックの特性 () に方法 () がために () がの工夫の読み ()	問題の発見・課題の設定 製作品の構想・設計 製図 製作の計画 作業手順を考えた製作 問題解決の評価・改善・修正				○材料と加工の技術の最適化 ○これからの材料と加工の技術	○双方向性のあるコンテンツとは		学習内容
	月	4月 5	月 6月	7月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計
	分野	家庭分野のガイダンス 自分の成長と家族・家庭生活【A( 家庭生活と地域のかかわり【A(3)ア(7			日常着の手入れと保 生活を豊かにするもの 持続可能な衣生活	管【B(4)ア(イ)イ】 の製作【B(5)アイ】 5【B(4)、(5)】			安全な住まいで安心	こちよさ【B(6)ア(ア)】 な暮らし【B(6)ア(イ)イ】 注生活【B(6)】	生活の課題と実践【A(4)、 B(7)】	35
四己	当時間	/ ○家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに	こ、家族や地域の	日的广庆(*+ 辛四	20 (四州もたいナ美田及び大明の海州が巡りについて)				○家族の生活と住空間との関わりが	<b>6</b> が分かり、住居の基本的な機能につい	2	
	知識及び技能	人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があること ○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っている。 や高齢者との関わり方について理解すること。	c気付くこと。 ことが分かり、企業 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣原	服の材料や状態に	3、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について野 応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできるこ 具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。				て理解すること。  ○家庭内の事故の防ぎ方など家族いて理解すること。	の安全を考えた住空間の整え方につ	○家族、幼児の生活又は地域の生活の中から	知識及び技能
資質・能力の 三つの柱	) 思考力、判断 力、表現力等	○家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の 働する方法について考え、工夫すること。			士方を考え、工夫すること。 に物の製作計画を考え、製作を工夫すること。				○家族の安全を考えた住空間の整	え方について考え、工夫すること。	問題を見いたして課題を設定し、その解決に向け てよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	思考力、判断 資質・能力の力、表現力等 三つの柱
	学びに向かう 力、人間性等	<ul><li>○家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。</li><li>○地域の人々と関わり、協働しようとする態度。</li></ul>	○衣生活を工夫し創造しようとする実践 ○衣生活における日本の生活文化を総		Œ.				○住生活を工夫し創造しようとする ○住生活における日本の生活文化		<ul><li>○家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な 態度。</li><li>○家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度。</li><li>○地域の人々と関わり、協働しようとする態度。</li></ul>	学びに向かう カ、人間性等
学i	習内容	○家庭分野のガイダンス         ○家庭生活と地           ○今の自分とこれまで         ○多様な人びとた           ○かたしの生活と家族・家庭         ○地域に暮らすま           ○家庭を支える社会         ○高齢者とのかか	が暮らす地域 (つなげよう和服の文化) 高齢者 (ト手な水服の選択)			布の繊維に応じた手入れ めざそう洗濯名人 )補修や収納・保管 )布による作品で生活を演出・妻 持続可能な衣生活をめざして	作の基礎・基本		○住まいのはたらき ○住まいの空間 ○家庭内事故への備え ○災害への備え ○持続可能な住生活をめざして		○生活の課題と実践	学習内容

# 技術·家庭科 年間指導計画 (2年)

学校で育	が成を目指す		学習の基盤	となる資質・能力						現実的な諸課題に対	応して求められる資質・能	 カ		
	f·能力		く言語	吾能力>						<自:	分づくり>			
		豊かな表現を工夫する力		事実等を解釈し自分の	 考えを形成する力			伝え合うことで自分の考え	 えを深化させる力		意思決定する力			
	料と関連付けた	相手の思いを受け止めて聞く力		感じたことを言葉にする力	J			メタ認知する力			自分らしさを発揮しようと	する姿勢		
<b>)</b>	重·能力	伝え合うことで自分の考えを深化させる	5力	互いの考えの違いへの気	付き			主体性·積極性			基本的な生活習慣をつく	る態度		
		考えの妥当性や信頼性を吟味する力		他者に的確に分かりやす	く伝える力			よりよい社会を創る態度			主体的に社会参画する			-
	科と関連付けた	言語で正確に伝える力		目的や意図に応じて伝え	えるべきことを整理する	カ		共生社会を形成しようと	する意識		地域に貢献する姿勢			
<b>)</b>	〔 ・能力	事実等を正確に理解する力						様々な情報を活用・選択	ママラン		課題に対応する力			
	( = -+h == - N   1   ()	(技)生活や社会で利用されている	対料、加工、生物育成、エネルギー変換〕	及び情報の技術についての	基礎的な理解を図ると	ともに、それらに係る	支能を身に付	 対け、技術と生活や社会、琤	環境との関わりについて理解を	た深める。				
	知識及び技能	(家) 家族・家庭の機能について理解	解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や理	環境などについて、生活の自	立に必要な基礎的な	理解を図るとともに、そ	それらに係る	技能を身に付けるようにする	, ) <sub>o</sub>					
学習指導要	一鬼老刀 判断	(技)生活や社会の中から技術に関	わる問題を見いだして課題を設定し、解決	央策を構想し、製作図等に	表現し、試作等を通じ	じて具体化し、実践を	評価・改善	するなど、課題を解決する力	で養う。					
領における目標	力、表現力等	(家) 家族・家庭や地域における生活	舌の中から問題を見いだして課題を設定し	、解決策を構想し、実践を	·評価・改善し、考察し	たことを論理的に表現	見するなど、こ	これからの生活を展望して誤	<b></b> 関を解決する力を養う。					
121	学びに向かう	(技) よりよい生活の実現や持続可能	能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実	に技術を工夫し創造しよう。	とする実践的な態度を	養う。								
	力、人間性等	(家)自分と家族、家庭生活と地域	との関わりを考え、家族や地域の人々と協	<b>ふ動し、よりよい生活の実現</b>	に向けて、生活を工夫	し創造しようとする実	践的な態度	を養う。						
	月	4月	5月 6月	7月	8・9月	1	0月	11月	1 2月	1月	2月	3月	時数	合計
技術	分野	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 生物育成の技術による問題解決【		せん エネルギー変換の打	支術の原理・法則と仕組	]み【C(1)アイ】		Iネルギー変換の技術による問	題解決【C(2)アイ】	社会の発展とエネルギー変 換の技術【C(3)アイ】		のプログラミングによる問題解決 (2)アイ】	3	5
百己当	当時間	8	2		8			9		2		6		
	知識及び技能	<ul><li>○作物、動物及び水産生物の成長、生態についての 則の理解</li><li>○生物の育成環境を調整する方法などの基礎的な 解</li></ul>	○生活や社会に果たす役割や影 に基づいた生物育成の技術の概念			の理解	○安全・適切な	制作、実装、点検及び調整等ができ	きる技能	○生活や社会に果たす役割や影響 に基づいたエネルギー変換の技術の 概念の理解		青報を利用するための基本的な仕組み や動作の確認ができる技能	知識及び技能	
資質・能力の 三つの柱	思考力、判断力、表現力等	○生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、問題 設定し解決できる力	○よりよい生活や持続可能な社会 の構築に向けて、生物育成の技術 を評価し、適切に選択、管理・運 したり、新たな発想に基づいて改	「○エネルギー変換の技術に込めら			○エネルギー変 きる力	換の技術の見方・考え方を働かせて、	問題を見いだして課題を設定し解決で	○よりよい生活や持続可能な社会の構 - 築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、 新たな発想に基づいて改良、応用したり する力	○情報の技術の見方・考え方を働	かせて課題を設定し解決できる力	思考力、判断力、表現力等	資質・能力の 三つの柱
	学びに向かう 力、人間性等	<ul><li>○進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能度</li><li>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構整</li><li>○自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなる。</li></ul>	○よりよい生活や持続可能な社会	1	関わり、主体的に理解し、技能	能を身に付けようとする態度	l	iしい考え方や捉え方によって、解決策 発決とその過程を振り返り、よりよいもの	を構想しようとする態度 りとなるよう改善・修正しようとする態度	○よりよい生活や持続可能な社会 の構築に向けて、エネルギー変換の 技術を工夫し創造していこうとする 態度	度	方によって解決策を構想しようとする態 くなるよう改善・修正しようとする態度	学びに向かう 力、人間性等	
学習	<b>對</b> 内容	○作物の育成環境を調整する技 取り ○問題の発見 ○作物の成長を管理する技術 ○生物の育成 ○動物を育てる技術 ○成長に合わ		○エネルギー変換の技術とは ○発電の仕組みと特徴 ○電気を供給する仕組み ○電気回路について考えよう	○電気機器を安全に使用 ○運動エネルギーへの変排 ○回転運動を伝える仕組 ○機械が動く仕組み ○機械の共通部品と保守 ○エネルギー変換の技術	处利用 み r点検の大切さ	l	課題の設定 には機構モデルの設計・制作 平価、改善・修正		○エネルギー変換の技術の最適化 ○これからのエネルギー変換の技術	○問題の発見・課題の設定 ○コンテンツの構想 ○コンテンツのプログラムの制作		学習	內容
	月	4月	5月 6月	7月	8・9月		0月	11月	1 2月	1月	2月	3月	時数	合計
<b></b>	分野	中学生に必要な栄養 さまざまな	き習慣【B(1)ア(ア)イ、(2)ア(ア)】 §を満たす食事【B(1)ア(イ)、(2)ア(イ)】 食品とその選択【B(3)ア(ア)】 の調理【B(3)ア(イ)(ウ)イ】		持網	地域の食文化【B(3) 献立づくり【B(2)ア 売可能な食生活【B(1)	(イ)】			家庭生活と消費【C(1)アイ】	74] []	生活の課題と実践【B(7)、 C(3)】	3	5
	当時間	○生活の中で食事が果たす役割について理解するこ	<i>k</i>	22	関連付け、用途に応じた食品	の縁択について理解し、適力	にできること		○朔八刀広で又払いり広の付扱	7777次 計画的な並成長性の必安に	エにフいて生活するとと。	2		
	知識及び技能	<ul><li>○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい</li><li>○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特</li></ul>	)食習慣について理解すること。 持質について理解すること。	○食品や調理 ○材料に適した	用具等の安全と衛生に留意し を加熱調理の仕方について理解	た管理について理解し、適切 解し、基礎的な日常食の調理	)にできること。 里が適切にできる	zt.	収集・整理が適切にできること。	書の背景とその対応について理解し、物 自分や家族の消費生活が環境や社会		) 以降生活の中が空間課度 現れない (諸連邦権高安	知識及び技能	
資質・能力の 三つの柱	思考力、判断力、表現力等	中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解すること。								i報を活用して購入について考え、工夫 した消費者としての責任ある消費行動		定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。 〇目分分家族の消費生活の中から問題を見い たして課題を設定し、その解決に向けて環境に 配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践	思考力、判断力、表現力等	資質・能力の 三つの柱
	学びに向かう 力、人間性等		1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。 を工夫し創造しようとする実践的な態度。						○身近な消費生活と環境について	工夫し創造しようとする実践的な態度		○身近な消費生活と環境について 工夫し創造しようとする実践的な態 度。	学びに向かう 力、人間性等	
学習	<b>對内容</b>	<ul><li>○食事の役割</li><li>○健康によい食習慣</li><li>○中学生の発達と必要な栄養</li><li>○栄養素のはたらきと6つの基礎食品群</li><li>○栄養パランスを目で見て判断</li><li>○生鮮食品の選択と保存</li></ul>	○加工食品の選択 ○食品の安全と情報 ○調理の計画 ○おいしさと調理 ○ますます好きになる内の調理 ○こんなにおいしい魚の調理	○好きになる野菜の調理 ○地域の食文化 ○ 1日分の献立 ○持続可能な食生活をめざして					○消費生活のしくみ ○家庭生活における収入と支出 ○いろいろな購入方法 ○購入前に知っておくこと ○いろいろな支払方法 ○情報を活用した上手な購入	○なくならない消 ○消費者を支え: ○消費者の権利 ○消費行動が社 ○消費行動が環 ○世界の国々と	るもの  と責任 :会に与える影響	○生活の課題と実践	学習	内容

# 技術・家庭科 年間指導計画 (3年)

学校で育	成を目指す		学習の基盤とな	はる資質・能力					現実的な諸課題に対	対応して求められる資質・絶	能力		
資質	•能力		く言語	能力>					<自	分づくり>			
		豊かな表現を工夫する力		事実等を解釈し自分の考え	えを形成する力		伝え合うことで自分の考え	を深化させる力		意思決定する力			
	と関連付けた ・能力	相手の思いを受け止めて聞く力		感じたことを言葉にする力			メタ認知する力			自分らしさを発揮しよう	とする姿勢		
		伝え合うことで自分の考えを深化させる力		互いの考えの違いへの気付	き		主体性·積極性			基本的な生活習慣をご	つくる態度		
1175-		考えの妥当性や信頼性を吟味する力		他者に的確に分かりやすく伝	云える力		よりよい社会を創る態度			主体的に社会参画する	5姿勢		
	料と関連付けた ・能力	言語で正確に伝える力		目的や意図に応じて伝える	べきことを整理する力		共生社会を形成しようとな	する意識		地域に貢献する姿勢			
英英	. 1000	事実等を正確に理解する力					様々な情報を活用・選択	ける力		課題に対応する力			
	知識及び技能	(技) 生活や社会で利用されている材料、加工	、生物育成、エネルギー変換及で	び情報の技術についての基礎	楚的な理解を図るととも	に、それらに係る技能を身に付	け、技術と生活や社会、弱	境との関わりについて理解	を深める。				
	知識及び技能	(家) 家族・家庭の機能について理解を深め、家	家族・家庭、衣食住、消費や環状	竟などについて、生活の自立(	に必要な基礎的な理解	解を図るとともに、それらに係る	支能を身に付けるようにする	0					
学習指導要領における目	思考力、判断	(技) 生活や社会の中から技術に関わる問題を		策を構想し、製作図等に表現	現し、試作等を通じて具	具体化し、実践を評価・改善す	するなど、課題を解決する力	を養う。					
関にのいる日	力、表現力等	(家) 家族・家庭や地域における生活の中から間	問題を見いだして課題を設定し、	解決策を構想し、実践を評	価・改善し、考察したる	ことを論理的に表現するなど、こ	れからの生活を展望して課	題を解決する力を養う。					
,,,,	学びに向かう	(技) よりよい生活の実現や持続可能な社会の	)構築に向けて、適切かつ誠実に	技術を工夫し創造しようとす	る実践的な態度を養	D.							
	力、人間性等	(家) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを	を考え、家族や地域の人々と協働	動し、よりよい生活の実現に向	句けて、生活を工夫し倉	創造しようとする実践的な態度	を養う。						
	月	4月 5月	6月	7月	8・9月	1 0月	11月	1 2月	1月	2月	3月	時数	合計
技術	分野			原理・法則と仕組み【D(1)フ テンツのプログラミングによる問				≣+汨Ⅱ。生Ⅱ/411/	のプログラミングによる問題角	松沖【ロ(3)マイ】			
				アングラロアフミングによる同 児の生活と家族【A(2)ア(ア					らの発展と情報の技術【D(		3年間の振り返り	1 2	85
家庭	分野			り見とのかかわり【A(2)ア(イ)					生活の課題と実践【A(4	)]		ر ا	5
	時間		持続可能な	家庭生活を目指して【A(1)。 22	、(2)、(3)】				10		2		
四に三	3吋(町	○情報の表現や通信などについての理解		22					10		3		
	60 - th 77 - 11 - 11 - 11	<ul><li>○情報のディジタル化や情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術</li><li>○情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な付</li></ul>						○計測・制御システムの仕組みの理		y no		60 - +h 1 - 1 / 1 / 1 / 1	
	知識及び技能	<ul><li>○安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバック等ができ</li><li>○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家が</li></ul>							動作の確認及びデバック等できる技術 となっていた情報の技術の概念の理			知識及び技能	
		○幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解するこ											
次年, 北十の	思考力、判断	○情報の技術に込められた工夫を読み取る力							かせて、問題を見いだして課題を設策 の構築に向けて、情報の技術を評値		、新	思考力、判断	次毎. 化十の
三つの柱	力、表現力等	○情報の技術の見方・考え方の気付き ○情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を	₹設定し解決できる力					たな発想に基づいて改良、応用した	こりする力			力、表現力等	
	731 12967343	○幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。						○家族、幼児の生活又は地域の5 活を考え、計画を立てて実践できる	生活の中から問題を見いだして課題を ること。	を設定し、その解決に回げ (よりよい)	±	73( 42,9673 43	
		<ul><li>○進んで情報の技術と関わって理解し技能を身に付けようとする態度</li></ul>	度						方によって、解決策を構想しようとする り返り、よりよいものとなるよう改善・値				
	学びに向かう	○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようと	とする態度					○よりよい生活や持続可能な社会	の構築に向けて、情報の技術を工夫			学びに向かう	
	力、人間性等	<ul><li>○自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善</li><li>○家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度。</li></ul>	┊・修止しようとする態度					<ul><li>○家庭生活を工夫し創造しようとす</li><li>○家庭生活を支える一員として生</li></ul>				力、人間性等	
		○情報のごいなリル		○幼児のころと今の	自分	○ふれ合い体験の前に		○地域の人々と関わり、協働しよう ○計測・制御システムとは	とする態度。 ○情報の技術	の見流ル			
		○情報のディジタル化 ○情報通信ネットワークの仕組み		○幼児の体の発達 ○幼児の心の発達		○ドキドキワクワクふれ合い体験		○問題の発見、課題の設定	○これからの情	報の技術	○SDGsと技術とのかかわり		
学習	图内容	○安全に利用するための情報セキュリティ ○情報の技術の工夫の読み取り		○発達にとってのお	となの役割	<ul><li>○ふれ合い体験は幼児からの贈り</li><li>○子どもの成長と地域</li></ul>	th control of the con	<ul><li>計測・制御システムの構想</li><li>計測・制御システムのプログラムの</li></ul>	○生活の課題 D制作	と実践	○学んだことを社会に生かす	学習	內容
		○問題解決の評価・改善・修正		<ul><li>○遊びが必要なわり</li><li>○遊びを支える環境</li></ul>		○持続可能な家庭生活をめざして		○問題解決の評価、改善・修正					

### 英語科 年間指導計画(1年)

学校で育成を 目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力 <b>〈言語能力〉</b>						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力						
		○ 言語の面	i白さへの気づき		 ○ 事実を解釈し自分の <sup>ま</sup>	 考えを形成する力		○ 夢や目標をもち、生き	 方を追求する姿勢		 ○ 他者の考えや思いに対	 する受容性		
	関連付けた ・能力	○ 感じたことを言葉にする力		○ 身近な語彙の豊かさ				○ 自己肯定感			○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力			
学習指導要 領における目 標 知識及び技能 思考力、判断 力、表現力等 学びに向かう 力、人間性等		・コミュニグージョンを行う目的で場面、状況などに応じて、日常的な品越で任去的な品越について、外国語で簡単な情報で考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え占うたりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。												
J	月	4	月 !	5月 6月	7月	8・9月	10月	11月	1 2月	1月	2月	3月	時数合計	
1	年		Unit1 Here We Go! Daily Life 1 国際郵便	Unit2 Club Activities Unit3 Enjoy the Summer	World Tour 1 世界の中学生 Active Grammer 1 You Can Do It! 1	<b>Unit 4</b> Our New Friend	Unit 5 This Is Our School Daily Life 2 落とし物 Active Grammer 2	Unit 6 Cheer Up, Tina Active grammer 3 Dairy Life 3 カフェ	Wrold Tour 2 世界の時刻 Active grammer 4 Let's Read 1 What Am I? You Can Do it! 2	<b>Unit 7</b> New Year Holidays in Japan	Active Grammer 5 Dairy Life 4 ウェブサイト Unit 8Getting Ready fot the Party Active Grammer 6 Daily Life 5 ラジオの中 継	Let's Read 2 The Lion and the Mouse You Can Do It! 3 Let's Read More My Japanese Lessons	教科書での 配当時数:100h 標準授業時数:140h	
配当	4時間	7	9	16	5	9	11	11	5	10	13	4		
20 FEF. 44-	知識及び技能	L 外国 R 読む SI 外国 SP 外国 W 書くる 国際理解 L W コ	語の音声や語彙、表現をことによって、外国語の文字 記記の音声や語彙、表現を 記語の音声や語彙、表現を ことによって、外国語の文字 自他の文化を理解、尊	言語の働きや役割を理解する。 「聞くこと」を主とした実際のコミュニケーショ・ と、単語、語順に慣れ親しむことを通じて身 「話すこと [やり取り] 」を主とした実際のコミニ話すこと [発表] 」を主とした実際のコミニ、単語、語順に慣れ親しむことを通じて身重し、アイデンティティを育んでいくこと や場面、状況などに応じて身近で簡単なる	おに付けるようにする。 コミュニケーションの場面におい ミュニケーションの場面におい に付けるようにする。 ことから日常的な話題につい	いて活用できる基本的な技 て活用できる基本的な技能	能を身に付けるようにする。 を身に付けるようにする。	え合う基礎的なコミュニケー	ションカ				<b>知識·技能</b> 横 浜 版	
資質・能力の 三つの柱	思考力、判断力、表現力等											の 呼 び <b>思考・判断・表現</b>		
	学びに向かう カ、人間性等											主体的に学習に取り組む態度		
内容(言	語材料)	葉○日付を表す	I am $\sim$ . I like $\sim$ . / I don ' t like $\sim$ . I can $\sim$ . / I can ' t $\sim$	Are you $\sim$ ? Do you $\sim$ ? Can you $\sim$ ? What do you $\sim$ ? I like dancing. I want to $\sim$ .	How many 〜? am, are / 一般動詞 / can 既習の表現	He is $\sim$ . / She is $\sim$ . Who is $\sim$ ? Is he $\sim$ ? / He isn ' t $\sim$ .	Where is $\sim$ ? Watch your step. When is $\sim$ ? Whose $\sim$ ? 代名詞	She likes ~. Does she ~? She doesn ' t ~. is / 3人称単数現在形 Which ~? How much ~?	What time ~? 疑問詞 既習の表現	I went $\sim$ . Did you $\sim$ ? It was $\sim$ .	動詞の過去形 既習の表現 I am baking 〜. Are you baking 〜? It looks 〜. 現在進行形 既習の表現	既習の表現	【 <b>帯活動】</b> Sounds and Letters Story Retelling Let's Talk! Active Words	
単元目標	•到達目標	第Ⅱ期の連携	L 会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 W 自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。 W 海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができ	に 9 は合うことが できる。		る。 SP 身近な人などについ	SI お気に入りの学校内の施設について, たずね合うことができる。	報を伝える,紹介文を書くる とができる。		R はがきから、出来事や 感想などを読み取ることがで きる。 W 冬休みの出来事や感想 などを伝える、はがきを書くる	過去の出来事や状態などを伝える言い方を整理しまう。 R ウェブサイトから,必要な情報を読み取ることができる。 L 写真の説明から,その場の状況を聞き取ることができる。 W 写真に、状況を説明するキャブ・ションを書ことができる。	R 物語から, あらすじを読み取ることができる。 R SP 学校行事の紹介ページを作ろう。 R レポートから, 筆者の体	R 文字を正しく読むことができる SP ストーリーについて,簡単な 句や文を使い,その場で話すこと できる。 SI 自分や相手のことについて,	

### 英語科 年間指導計画(2年)

学校で育成を 目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力							現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力						
		<言語能力>						<自分づくり>							
		<ul><li>言語の面白さへの気つ</li></ul>	 びき		<ul><li>○ 事実を解釈し自分の表</li></ul>	 考えを形成する力		○ 夢や目標をもち、生き	 方を追求する姿勢		○ 他者の考えや思いに	 対する受容性			
英語科と関連付けた 資質・能力		○ 感じたことを言葉にする	3力	○ 身近な語彙の豊かさ			○ 自己肯定感			○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力					
学習指導要	田老力 如胀	・外国語の音声や語彙,表現,文法,言語の働きなどを理解するとともに,これらの知識を,聞くこと,読むこと,語すこと,書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。													
頃における目 標	力、表現力等学びに向かう	・コミュニケーションを行う目的や場面,状況などに応じて,日常的な話題や社会的な話題について,外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め,聞き手,読み手,話し手,書き手に配慮しながら,主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。													
	力、人間性等 月	*/下国語の目景にめるX1に対する追解で未め、頂き子、読の子、話し子、音さ子に印息しなかり、主体的に介国語を用いてコミューケーションを図りたする態度を養う。       4月     5月     6月     7月     8・9月     10月     11月     12月     1月     2月     3月											時数合計		
2	年	<b>Unit1</b> Hajin's Daiary	Active Grammar 1 Unit 2	Active Grammar 2 Daily Life 1電話 Unit 3 Plans for the Summer Active Grammar 3	Daily Life 2 アナウンス Let's Read 1 Sukh's White Horse World Tour 1 いろいろな単位 You Can Do It! 1	Daily Life 3 レストラン Unit 4 Tour in New York City Daily Life 4 道案内	Active Grammar 4 Unit 5 Earthquake Drill Daily Life 5 イベントのお知らせ Daily Life 6 体調不良	Active Grammar 5 Unit 6 Work Experience Active Grammar 6 Active Grammar 7	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru World Tour 2 世界を舞台に働く人 You Can Do It! 2	<b>Unit 7</b> Amazing Australia	Daily Life 7 観光案内 Active Grammar 8 Unit 8 Staging a Musical Active Grammar 9	Daily Life 8 音声ガイド Let's Read 3 Emojis World Tour 3 世界遺産めぐり You Can Do It! 3	教科書での 配当時数:108h 標準授業時数:140h		
配当	<b>当時間</b>	9	10	12	7	11	12	12	6	9	12	8			
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能 思考力、判断 力、表現力等 学びに向かう	R 外国語の音声や語彙 SI 外国語の音声や語彙 SP 外国語の音声や語彙 W 外国語の音声や語彙 国際理解 自他の文化を L R SI SP W コミュニケーションを SI W コミュニケーションを L SI 分からない状況で L R SI 推測しながら調 国際理解 相手との相互 L R SI SP W 外国	音声や語彙、表現、文法を、「話すこと [発表] Jを用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。 音声や語彙、表現を、「書くこと Jを主とした実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。 他の文化を理解、尊重し、アイデンティティを育んでいくこと  W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的で具体的な話題について表現し伝え合うことができるコミュニケーションカ でーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解することができる力 ・ クーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解し、それらを活用して表現し伝え合うことができる力 ・ の ・ ク・ションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解し、それらを活用して表現し伝え合うことができる力 ・ の ・ といけ、ことができる力 ・ いけ、ことができる力 ・ いけ、ことができる力 ・ いけ、ことができるが、 いき、ことができるが、 いま、ことができるが、 いま、ことができるができるが、 いま、ことができるが、 ことができるが、 いま、ことができるが、 いま、ことができるが、 いま、ことができるが、 いま、ことができるが、 いま、ことができるが、 いま、ことができる。									浜 版 で の 呼 び ぶ			
内容(言	言語材料)	I went ~. / How was ~? I was studying ~. When I was ~.	動詞の過去形 / 過去進行形 I don't like playing 〜. Hajin wants to 〜. I think (that) 〜.	動名詞 / 不定詞/名詞的	既習の表現	Shall I $\sim$ ? Will you $\sim$ ? There is $\sim$ . / There are $\sim$ . Show me the leaflet. a place to stay Could you $\sim$ ? How long $\sim$ ?	目的語 have to / don't have to must / must not should / should not 既習の表現 think you should ~.	助動詞 He's here to help you.  ~ because I'm glad to hear ~. 不定詞〈形容詞的用法 副詞的用法)	既習の表現.	比較級,最上級,as ~ as ···	既習の表現 比較表現 were written by ~ make me nervous want you to do ~ 受け身の文	既習の表現	【带活動】 Story Retelling Let's Talk! Active Words		
単元目標	·到達目標	R 日記から, 出来事や感想などを読み取ることができる。 W 日記に, 出来事や感想などを書くことができる。	L インタビューから, 好きなことなどを聞き取ることができる。 SI 好きなことやしたいことな	SI 電話で、何かを頼んだり応 じたりすることができる。 R メールから、予定や希望な どを読み取ることができる。 W 予定や希望などを伝える メールを書くことができる。	る。 R 物語から、出来事の経 過を読み取ることができる。 L 日本とは異なる単位につ いて知ろう。	R ガイドブックから, 施設やできることなどを読み取ることができ	SI 所設パックに入れるものを決め る,話し合いをすることができる。 R 複数の掲示物から,自分が必 要とする情報を読み取ることができ る。 SI 体調をたずねたり,助言をした	<ul> <li>R レポートから,職場で体験したことや感想などを読み取るとができる。</li> <li>W 職場で体験したことや感想などを伝える,レポートを書くこができる。</li> </ul>	R インタビュー記事から、 かの経歴や思いを読み取ることができる。 S 世界で活躍する人たちに ついて知ろう。 R SI 職業診断のチャーを作ろう。	R 観光紹介の記事から、名 所や特色などを読み取ることが できる。 W 町の名所や名物などを伝え る、紹介文を書くことができる。 L 音声案内から、おおまかな 情報を聞き取ることができる。 R 観光案内情報から、必要 な情報を読み取ることができる。	何かを比べて説明する言い方は整理しよう。 R 学級新聞から,作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 SP 作者やおおまかな内容なを言って,好きな作品を紹介することができる。 何かをされていると説明する言い方を整理しよう。	まかな情報を聞き取ることができる。 R 説明文から、絵文字の概 要を読み取ることができる。	SI 自分や相手のことについて, の場でやり取りすることができる。 自分が言いたいことを伝えるため		

# 英語科 年間指導計画(3年)

学校で育成を 目指す 資質・能力				学習の基盤と	なる資質・能力			現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力						
				く言語	能力>			<自分づくり>						
		○ 言語の面白さへの気づ	 ੇਂਟੇ		 ○ 事実を解釈し自分の <sup>ま</sup>	 考えを形成する力	○ 夢や目標	 票をもち、生き方を追求する姿勢		 ○ 他者の考えや思いに対	 寸する受容性			
英語科と閉 資質・		○ 感じたことを言葉にする	カ		○ 身近な語彙の豊かさ		〇 自己肯定	定感						
学習指導要 領における目 標 思考力、判断 力、表現力等 学びに向かう 力、人間性等		・コミュニグーションを行う目的で場面、状況などに応じて、日常的な品題で任去的な品題について、外国語で簡単な情報で考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え占ったりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。												
F	]	4月	5月	6月	7月	8・9月 1	0月 1	1月 12月	1月	2月	3月	時数合計		
3	年	<b>Unit 1</b> School Life Around the World	<b>Daily Life 1</b> ディスカッション <b>Unit 2</b> Our School Trip	Daily Life 2 留守番電話 Unit 3 Lessons From Hiroshima Active Grammar 1	Kawamoto Itsuyoshi World Tour 1 Living With Animals	Robots Make Dreams Come	Unit 5 Plastic Waste Daily Life 4 ニュース	Unit 6 The Chorus Contest Active Grammar 2 You Can Do It! 2	Unit 7 Tina's Speech World Tour 2 How Do We Live?	Let's Read 3 Changing the World Unit 8 Goodbye, Tina	You Can Do It! 3 Let's Read More	教科書での 配当時数:95h 標準授業時数:140h		
配当	時間	9	10	12	7	14	10	13	8	10	2			
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能思考力、判断	L R SI SP W 外国語を通じて言語の働きや役割を理解する。 L 外国語の音声や語彙、表現、文法を、「聞くこと」を用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる技能を身に付けるようにする。 R 外国語の音声や語彙、表現、文法を、「読むこと」を主とした実際のコミュニケーションの場面において活用できる技能を身に付けるようにする。 能 SI 外国語の音声や語彙、表現、文法を、「話すこと [やり取り] 」を用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる技能を身に付けるようにする。 SP 外国語の音声や語彙、表現、交法を、「話すこと [発表] 」を用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる技能を身に付けるようにする。 W 外国語の音声や語彙、表現を、「書くこと」を主とした実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。 国際理解 自他の文化を理解、尊重し、アイデンティティを育んでいくこと  L R SI SP W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的で具体的な話題について表現し伝え合うことができるコミュニケーションカ L R コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解することができるカ SI W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解することができるカ SI W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題にあるとができるカ SI W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解し、それらを活用して表現し伝え合うことができるカ SI W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解し、それらを活用して表現し伝え合うことができるカ SI W コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、具体的な話題にあって表現し伝え合うことができるカ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の												
		L R SI SP W 外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、聞き手や話し手に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。  t R SI SP W 外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。  t R SI SP あいまいさに耐えながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。  国際理解 英語を通して、言語やその背景にある文化を尊重し、共生できる態度									主体的に学習に取り組む態度			
内容(言	語材料)	The classes are taught $\sim$ . Let me show you $\sim$ . Ms. Brown told us that $\sim$ .	既習の表現 現在完了形〈完了〉 現在完了形〈経験〉	既習の表現 現在完了形〈継続〉 現在完了進行形 It is ~ for us to	既習の表現	関係代名詞〈主格〉which, who, that 既習の表現	関係代名詞〈目的格〉 which, that 接触節	two people playing ~ T-shirts designed by ~ Tell us why you are ~. 後置修飾 既習の表現	what to expect ~ If I could ~, I would  既習の表現	I wish you weren't 〜. 既習の表現	既習の表現	【带活動】 Story Retelling Let's Talk! Active Words		
単元目標·到達目標		取ることができる。	L 話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。 L 会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 SI おすすめの場所につい	R 文章から,人物の経験や 心情などを読み取ることができ る。 SP 読んだ文章について,感じ	気持ちを読み取り, 筆者について想像したことを伝え合うことができる。 L 絶滅危惧種の現状やその原因について知ろう。	R 投稿文から、それぞれの意見の要点を 読み取ることができる。 W 読んだ投稿文について、感想や自分 の意見を書くことができる。 R SI 説明文の要旨を読み取り、自分の 考えを伝え合うことができる。 R ポスターから、必要な情報を読み取るこ	ス合うことかできる。 I CD ニューフを問いて亜	SP 絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。 名詞の後ろに説明を追加する言い方を整理しよう。	L スピーチから, 詰し手から ちばん伝えたいことを聞き取 ることができる。 SP 今の自分の様子を伝 え, スピーチをすることができ	の主張を読み取り、自分の 考えを伝え合うことができる。 R 手紙から、書き手のいち	i <b>R W</b> 3年間を締めくくる言	SP ストーリーについて, 簡単な 句や文を使い, その場で話すこと できる。 SI 自分や相手のことについて, の場でやり取りすることができる。 自分が言いたいことを伝えるための		